がん対策推進のためのならの患者体験アンケート調査報告書

目 次

[.調査実施の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
Ι	. 集計結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
	回答者属性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
	がんと診断されたことがある方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
	1. がんの診断時期・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
	2. 最初にがんと診断された部位・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
	3. 治療中の医療機関とかかりつけ医の有無・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
	4. 現在の治療状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
	5. 今まで受けた治療・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11
	6. 医療機関を選んだ理由・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12
	7. 医療機関の情報入手先・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13
	8. 現在の医療機関に対する満足度・・・・・・・・・・・・・・・・・	14
	9. がん治療を受けるにあたっての不満や不安・・・・・・・	15
	10. がん治療開始までの納得感・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	16
	11. 医師からの説明に対する納得感・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	17
	12. 医師への意見の伝達・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	18
	13. 不妊への影響について説明の有無・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	19
	14. 院内スタッフの連携について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	20
	15. スタッフからの情報提供について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	21
	16. セカンドオピニオンについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	22
	17. 緩和ケアについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	23
	18. 患者必携の認知・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	26
	19. 在宅医療移行時の情報伝達について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	27
	20. 地域連携クリティカルパスの認知度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	28
	21. 在宅緩和ケアについて・・・・・・・・・・・・・・・22. がんで痛みを伴う場合の希望療養場所・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	29 31
	22. かんで浦みを行う場合の布呈原食場所・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	32
	23. 日七原後の末件・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	33
	24. 豕族への負担・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	34
	26. 受けた支援の納得感・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	35
	27. がん医療に関する相談支援、情報提供の現状・・・・・	36
	28. がんに関する情報の充実度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	37
	29. 相談支援センターの利用の有無・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	39
	30. 患者サロンの認知度と知ったきっかけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	40
	31. がん治療中の就労についての認識・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	41
	32. がん診断時の就労状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	42
	33. がん治療への事業者の理解・支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	43
	34. がん治療による就労状況の変化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	44
	35. がん患者が望む就労制度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	45
	36. がんでの退職・廃業の有無・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	46
	37. 経済的、就労に関して望まれる情報提供・・・・・・・・	47
	38. がん対策について県に望むこと・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	48
	39. 療養生活を送る中で、よかったこと、不満だったこと・	49
	40. 医療機関や行政に望むこと・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	50

がんと診断されたことがない方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	51
41. がん以外の治療中の疾患・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	51
42. 治療中の医療機関・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	52
43. 医療機関を選んだ理由・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	53
44. 医療機関の情報入手先・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	54
45. スタッフからの情報提供、医療情報の収集状況・・・・	55
46. 院内スタッフの連携の有無・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	56
47. 医療に関する相談支援場所の有無・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	57
48. 就労についての認識・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	58
49. 就労状況の変化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	59
50. 仕事上の関係者の支援、配慮・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	60
51. 患者が感じる家族への負担・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	61
52. 医療の進歩に対する実感・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	62
53. 治療に対する納得感・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	63
54. 自分らしい日常生活への実感・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	64
55. ご意見・ご感想・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	65
Ⅲ. 調査票・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	66

Ⅰ. 調査実施の概要

I. 調査実施の概要 2

調査目的

平成25年度に実施した「がん患者意識調査」と比較し、医療に対する満足度、がん医療に関する認知度等をがん対策の進捗状況の評価や、必要なところに対策を講じる資料とする。今回は、がん患者のみではなく、がん以外の患者も調査対象とする。

調査フレーム

【ならの患者体験調査】

調査概要 県内の医療機関に入院、通院中の患者を対象にした診断や治療等についての意識調査

調査手法協力医療機関から、入院、通院中の患者に調査票及び返信用封筒を手渡し、患者本人

またはその家族が調査票に記入後、郵送で提出

調査対象者 県内のがん診療を標榜している診療所

配布数(人) 1,598 配布率78.7%(協力医療機関配布数2,030)

回収数(人) 912(有効票910) 回収率57.1%(有効票回収率56.9%)

調査実施時期 2015年9月1日(火)~10月9日(金)

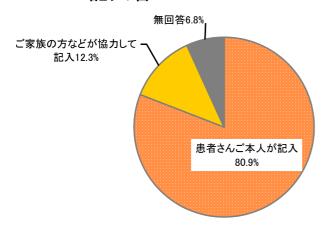
報告書の見方

- (1)比率は全て百分率(%)で示し、小数点第2位以下を四捨五入して算出している。このため、100.0%とならない場合もある。
- (2)それぞれの表中の「n」とは、当該設問に対する回答者数を示す。
- (3)SA(シングルアンサー)とは、一つの質問に対する回答が1つに限られるものである。また、MA(マルチアンサー)とは、一つの質問に対して複数の選択項目の中から一つもしくは複数選ぶものである。
- (4)FA(フリーアンサー)とは、質問に対して回答者が自由に文章や単語で記入する質問形式やその回答のことである。

Ⅱ. 集計結果

回答者属性

F1. 記入者



	全 体 体	患者さんご本人が記入	入ご家族の方などが協力して記	無回答
比率	100.0	80.9	12.3	6.8
実数	910	736	112	62

全体 n=910

100.0

910

比率

実数

0.2

2

0

0.4

4

1.8

16

7.7

70

12.5

114

31.3

285

33.5

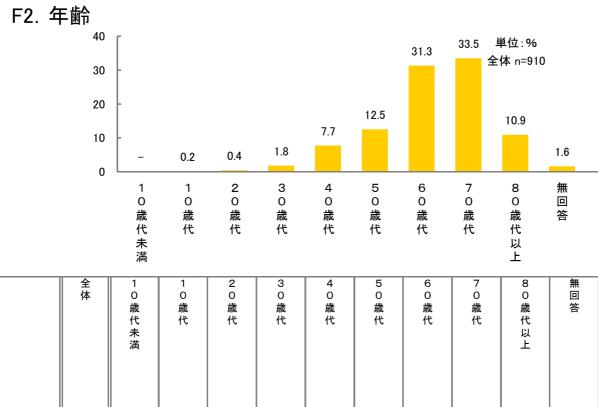
305

10.9

99

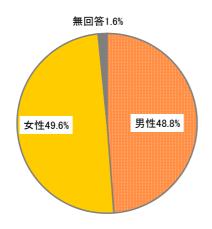
1.6

15



回答者属性

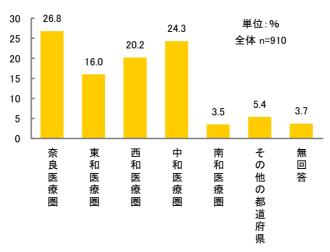
F3. 性別



	全 体	男	女	無回答
比率	100.0	48.8	49.6	1.6
実数	910	444	451	15

全体 n=910

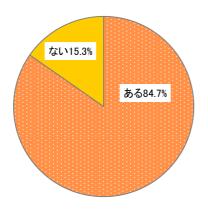
F4. 居住地



	体	奈良医療圏	東和医療圏	西和医療圏	中和医療圏	南和医療圏	その他の都道府県	無回答
比率	100.0	26.8	16.0	20.2	24.3	3.5	5.4	3.7
実数	910	244	146	184	221	32	49	34

回答者属性

F5. がん診断の有無



	サンプル数	ある	ない	無回答
比率	910	84.7	15.3	-
実数	310	771	139	0

全体 n=910

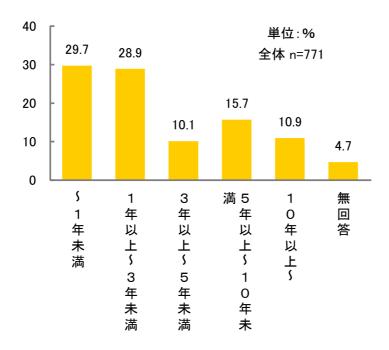
1. がんの診断時期

がん患者回答者の診断時期は「1年未満」が最も高く29.7%、3年未満に診断された人が計58.6%であった。

がんと診断された時期は「1年未満」が29.7%で最も高く、続いて「1年以上~3年未満」(28.9%)、「5年以上~10年未満」(15.7%)であった。3年未満に診断された人が半数以上であった。

問1. がんと最初に診断されたのは、いつ頃ですか。(SA))

【がんの診断時期】



	全 体	~ 1年未満	1年以上~3年未満	3年以上~ 5 年未満	5年以上~10年未満	10年以上~	無回答
比率	100.0	29.7	28.9	10.1	15.7	10.9	4.7
実数	771	229	223	78	121	84	36

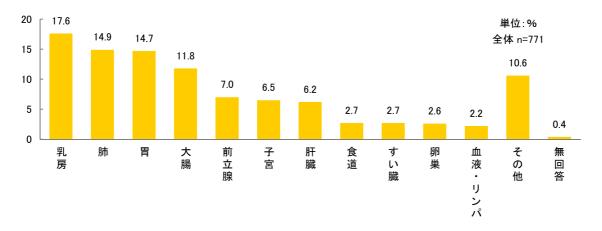
2. 最初にがんと診断された部位

最初にがんと診断された部位で最も高いのは「乳房」、「肺」「胃」「大腸」もそれぞれ10%以上で あった。

最初のがんと診断された部位は「乳房」が17.6%で最も高く、「肺」(14.9%)、「胃」(14.7%)、「大腸」(11.8%)が続い ている。

問2. 最初にがんと診断された部位はどこですか。(SA)

【最初にがんと診断された部位】



	全体	乳房	肺	图月	大腸	前立腺	子宮	肝臓	食道	す い 臓	卵巣	血液・リンパ	その他	無回答
比率	100.0	17.6	14.9	14.7	11.8	7.0	6.5	6.2	2.7	2.7	2.6	2.2	10.6	0.4
実数	771	136	115	113	91	54	50	48	21	21	20	17	82	3

【その他の主な内容】*3件以上を抜粋

-膀胱 -胆管

- 喉頭

•甲状腺

·舌 ·十二指腸

-耳下腺

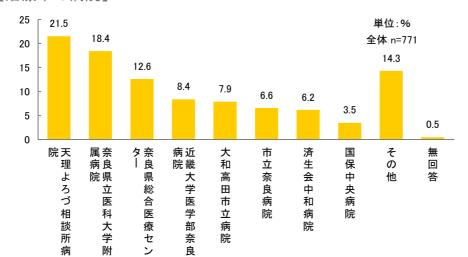
3. 治療中の医療機関とかかりつけ医の有無

治療中の病院は「天理よろづ相談病院」が最も高い21.5%。回答者の6割以上がかかりつけ医を持っている。

- 治療中の医療機関は「天理よろづ相談病院」が21.5%で最も高く、「奈良県立医科大学附属病院」が18.4%と続く。
- かかりつけ医の有無については、「持っている(現在、かかりつけ医での通院なしも含む)」と回答した人が65.4%で6割以上がかかりつけ医を持っている。

問3. 現在がんの治療(または経過観察)のためにかかっている病院はどこですか。(SA) 問3-1. 地域の病院や診療所のかかりつけ医)をお持ちですか。(SA)

【治療中の病院】



【その他の主な内容】*3件以上を抜粋

・高井病院

- 平尾病院

3.5

27

14.3

110

0.5

4

6.2

48

・平成記念病院 ・土庫病院

·西奈良中央病院 ·阪奈中央病院

·県立五條病院 ·済生会奈良病院

天理 近 Ď 体 良 良 畿 和 立 生 保 回 ڋ 大学医 県 숲 中 高 他 県 答 奈 ·央病 ろづ 良 中 立 総 田 医 合 市 和 科大学 学部 相 院 医 寸 病 院 療 談 院 所 セ 奈 良病 病 附 属 ター 病 院

8.4

65

7.9

61

6.6

51

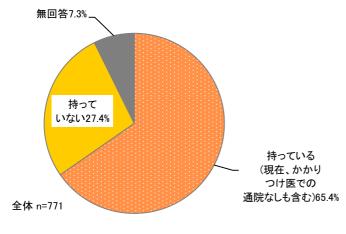
【かかりつけ医の有無】

100.0

771

比率

実数



18.4

142

21.5

166

12.6

97

	全 体	け医での通院なしも含む)持っている(現在、かかりつ	持っていない	無回答
比率	100.0	65.4	27.4	7.3
実数	771	504	211	56

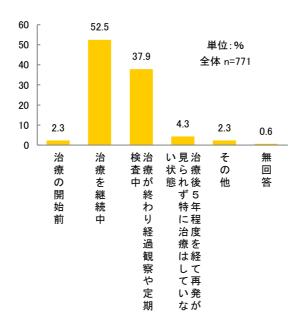
4. 現在の治療状況

がんの治療状況は治療を継続中の患者が半数以上であった。

がんの治療状況は、「治療を継続中」(52.5%)が半数以上で最も高い。「治療が終わり経過観察や定期検査中」が37.9%で続く。「治療後、5年程度を経て再発が見られず特に治療はしていない状態」の患者は4.3%にとどまった。

問4. 現在のがんの治療状況を教えてください。(SA)

【現在の治療状況】



	全体	治療の開始前	治療を継続中	検査中治療が終わり経過観察や定期に	い状態見られず特に治療はしていな治療後5年程度を経て再発が	その他	無回答
上率	100.0	2.3	52.5	37.9	4.3	2.3	0.6
実数	771	18	405	292	33	18	5

【その他の主な内容】*3件以上を抜粋 ・再発治療中・治療なし

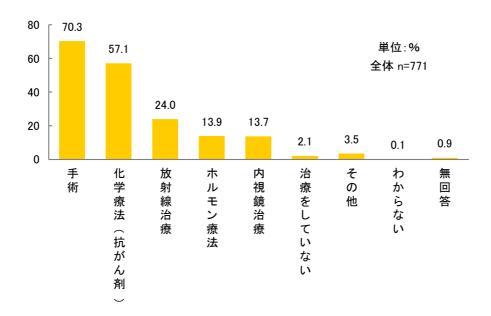
5. 今まで受けた治療

がん患者が今まで受けた治療は「手術」、「化学療法」が半数以上で多い。

● 今まで受けたがん治療で最も高いのは「手術」(70.3%)で、次に「化学療法(抗がん剤)」(57.1%)、「放射線治療」(24.0%)と続いた。また、「治療をしていない」は2.1%であった。

問5. がんと診断されてからこれまで受けたがん治療を教えてください。(MA)

【今まで受けた治療】



	全 体	手 術	化学療法(抗がん剤)	放射線治療	ホルモン療法	内視鏡治療	治療をしていない	その他	わからない	無回答
比率	100.0	70.3	57.1	24.0	13.9	13.7	2.1	3.5	0.1	0.9
実数	771	542	440	185	107	106	16	27	1	7

【その他の主な内容】*3件以上を抜粋・ラジオ波

6. 医療機関を選んだ理由

かかっている病院を選んだ理由は、「医師による紹介」が半数以上で最も高く、その他では立地や規模、医師の技術や提供される治療の専門性などが挙げられた。

● 現在かかっている病院を選んだ理由は、「医師による紹介」(56.8%)が半数以上である。以下、「自宅や職場・学校に近い」(22.0%)、「技術のすぐれた医師がいる」(17.3%)、「以前に来たことがある」(15.0%)、「大きな病院で安心そう」(14.9%)、「専門性が高い医療を提供している」(14.7%)と続いた。

問6. 現在かかっている病院を選んだ理由は何ですか。(MA)

【医療機関を選んだ理由】



	体体	医師による紹介	自宅や職場・学校に近い	技術のすぐれた医師がいる	以前に来たことがある	大きな病院で安心そう	いる専門性が高い医療を提供して	め家族・友人・知人からのすす	医師や看護師が親切	を提供している様々な症状に対応できる医療	なっている受けたい検査や治療をおこ	交通機関の便がよい	ら病室などがきれいな病院だか	紹介薬局や他の医療関係者からの	足できなかった以前に受診した医療機関に満	施設が充実連携している医療機関・福祉	ない入院にかかる経済的負担が少	治療成績が良い生存率、合併症発生率などの	その他	特に理由はない	無回答
比率	100.0	56.8	22.0	17.3	15.0	14.9	14.7	13.2	12.7	12.2	6.9	6.6	3.1	2.9	2.5	2.2	1.7	0.9	4.7	0.6	0.5
実数	771	438	170	133	116	115	113	102	98	94	53	51	24	22	19	17	13	7	36	5	4

【その他の主な内容】*3件以上を抜粋 ・医師の転院 ・勤務先だった

7. 医療機関の情報入手先

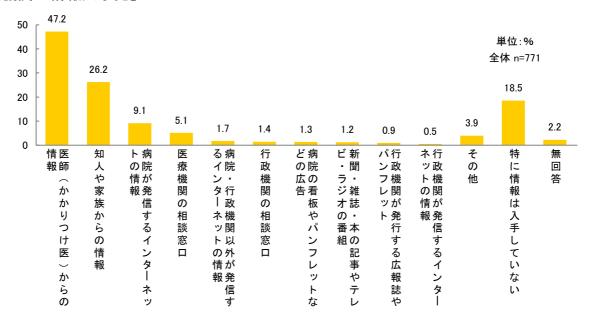
現在かかっている病院の主な情報入手先は、「医師からの情報」と「知人や家族からの情報」で面識のある人からの情報であった。

また、情報を入手していない人も1割以上あった。

● 現在かかっている病院の情報の入手先は、「医師(かかりつけ医)からの情報」が47.2%で最も高く、「知人や家族からの情報」(26.2%)が続いており、その他の情報源は1割未満であった。また、「特に情報は入手していない」(18.5%)という人が1割以上であった。

問7. 現在かかっている病院を選ぶにあたり、どこから情報を入手しましたか。(MA)

【医療機関の情報入手先】



	全 体	情報(かかりつけ医)からの	知人や家族からの情報	トの情報病院が発信するインターネッ	医療機関の相談窓口	るインター ネットの情報病院・行政機関以外が発信す	行政機関の相談窓口	どの広告病院の看板やパンフレットな	ビ・ラジオの番組新聞・雑誌・本の記事やテレ	パンフレット行政機関が発行する広報誌や	ネットの情報行政機関が発信するインター	その他	特に情報は入手していない	無回答
比率	100.0	47.2	26.2	9.1	5.1	1.7	1.4	1.3	1.2	0.9	0.5	3.9	18.5	2.2
実数	771	364	202	70	39	13	11	10	9	7	4	30	143	17

【その他の主な内容】*3件以上を抜粋 ・病院からの紹介

8. 現在の医療機関に対する満足度

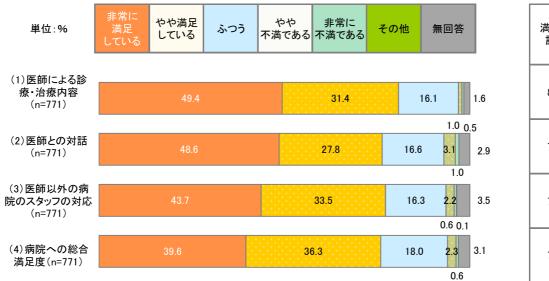
病院の満足度は、いずれの項目も7割以上が満足していると回答しており、特に「医師による診断・治療内容」は満足計80.8%と最も高い。

- 医師による診療・治療内容の満足度は、「非常に満足している」が49.4%、「やや満足している」が31.4%で、満足計が80.8%であった。
- 医師との対話の満足度は「非常に満足している」が48.6%、「やや満足している」が27.8%で、満足計が76.4%であった。ごくわずかではあるが、不満計(4.1%)が他の項目に比べて高い。
- 医師以外の病院のスタッフの対応については「非常に満足している」が43.7%、「やや満足している」が33.5%で、満足計が77.2%であった。
- 病院への総合満足度については「非常に満足している」が39.6%、「やや満足している」が36.3%で、満足計が75.9%であった。

問8. 現在、かかっている病院についての感想をお聞かせください。

- (1) 医師による診療・治療内容に満足していますか。
- (2) 医師との対話に満足していますか。
- (3) 医師以外の病院のスタッフの対応に満足していますか。
- (4)全体として病院に満足していますか。

【現在の医療機関に対する満足度】



満足計	不満計
80.8	1.5
76.4	4.1
77.2	2.8
75.9	2.9

		サンプル数	非常に満足している	やや満足している	ふつう	やや不満である	非常に不満である	その他	無回答
(1)医師による診	比率	100.0	49.4	31.4	16.1	1.0	0.5	_	1.6
療・治療内容	実数	771	381	242	124	8	4	0	12
(2)医師との対話	比率	100.0	48.6	27.8	16.6	3.1	1.0	_	2.9
	実数	771	375	214	128	24	8	0	22
(3)医師以外の病院のスタッフの対	比率	100.0	43.7	33.5	16.3	2.2	0.6	0.1	3.5
応のスタックの対応	実数	771	337	258	126	17	5	1	27
(4)病院への総合	比率	100.0	39.6	36.3	18.0	2.3	0.6	_	3.1
満足度	実数	771	305	280	139	18	5	0	24

9. がん治療を受けるにあたっての不満や不安

がん治療について不満や不安として、医師との対話、病院の設備やサービスについての不満が多かった。希望する対応としては、納得のいく説明、患者一人一人に合わせた対応が多い。

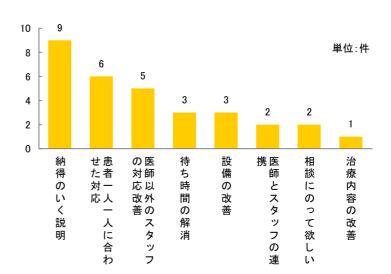
● がん治療を受けるにあたっての不満や不安を自由記述で回答してもらったものを分類した結果、聞きたいことがあるのに聞いてもらえなかったなどの「医師との対話」についての不満が最も多く18件であった。待ち時間の長さなど「病院の設備やサービス」についてが11件で続いた。

問9. 不満な点は具体的にどのような点ですか。また、それに対して、どのような対応を望みますか。(FA) 【問8のいずれかの項目で「やや不満である」「非常に不満である」と回答した人】

【不満・不安】

20 18 単位:件 15 11 8 8 10 5 3 1 療医 タ医 担 い治 師 に院 内師 ッ師 当 て療 との 容に フ以 医 の以 つの の い設 外 対外 対 て備 の 変 応の 更、 ゃ 診 病 相 サー 療 院 談 退 に Ĕ 治

【希望する対応】



【主な意見】

不満•不安

- 主治医にはたくさんの患者がいて忙しいのはわかるが、もう少しひとりひとり患者のことを みて対応してほしいです。
- 予約しているのに待ち時間が長いです。体調が悪くても休養できる場所ありません。
- ・ 病棟の看護師の方の態度が人によってムラがある。とても親切な方もいれば、 乱暴な言葉づかいや冷たい態度の方もいます。

希望する対応

- 一般的な内容ではなく、その患者にあった内容で話をしてほしいです。
- 受付の対応をしっかり教育してほしいです。毎日の仕事だと思いますが、病気の人が 行くのだから心からの言葉かけを勉強すべきだと思います。
- ・ 医師は多くの患者を抱えてとても忙しいとは思いますが、治療の要所、要所では患者 一人一人になるべく丁寧に対応して頂きたいです。また、周りの看護師さんには主治医との コミュニケーションが上手くいかない患者がいたらサポートをお願いしたいです。

10. がん治療開始までの納得感

がん診断から治療までは、8割以上の人が納得いく治療を選択できたと回答している。

● がんの診断から治療まで、納得いく治療を選択できた人は、「そう思う」(64.3%)と、「ややそう思う」(21.5%)を合わせると85.8%となる。納得できていない人は2%未満。

問10. がんの診断から治療開始までの状況を総合的にふりかえって、ご自身が納得いく治療を選択することができましたか。(SA)

【がん治療開始までの納得感】



そう思う 計	思わ ない 計
85.8	1.8

	全 体	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
比率	100.0	64.3	21.5	8.2	1.3	0.5	3.0	1.2
実数	771	496	166	63	10	4	23	9

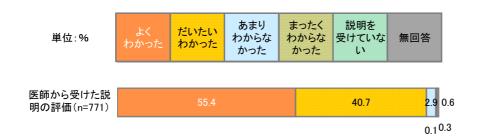
11. 医師からの説明に対する納得感

医師からの説明について9割以上が理解できたと回答している。

● 医師からの説明についての評価は、「よくわかった」(55.4%)、「だいたいわかった」(40.7%)の合計で96.1%と9割以上が説明をわかったと回答している。

問11. 診断や治療方針について、現在かかっている病院の医師から受けた説明はよくわかりましたか。(SA)

【医師からの説明に対する納得感】



わかった 計	わから なかった 計
96.1	3.0

	全 体	よくわかった	だいたいわかった	あまりわからなかった	まったくわからなかった	説明を受けていない	無回答
比率	100.0	55.4	40.7	2.9	0.1	0.3	0.6
実数	771	427	314	22	1	2	5

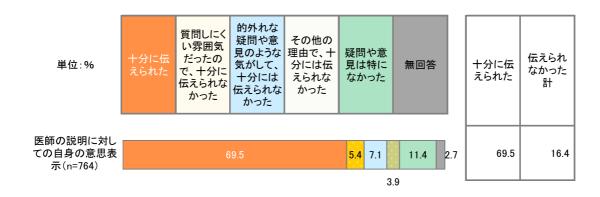
12. 医師への意見の伝達

診断や治療に対する疑問や意見を、医師に「十分伝えられた」は約7割。一方、「十分に伝えることができなかった」人が16.4%であった。

● 医師への意見の伝達については、「十分に伝えられた」が69.5%であった。「質問しにくい雰囲気だったので、十分に伝えられなかった」が5.4%、「的外れな疑問や意見のような気がして、十分には伝えられなかった」が7.1%、「その他の理由で、十分には伝えられなかった」が3.9%で、十分に伝えられなかった計は16.4%であった。

問12. 医師から受けた診断や治療方針の説明に対して、あなたの疑問や意見を医師に十分に伝えられましたか。(SA) 【問11で「説明を受けていない」と回答した人、「無回答」を除く】

【医師への意見の伝達】



	全 体	十分に伝えられた	で、十分に伝えられなかった質問しにくい雰囲気だったの	なかった、十分には伝えられ気がして、十分には伝えられ的外れな疑問や意見のような	えられなかったその他の理由で、十分には伝	疑問や意見は特になかった	無回答
			たの	ー れな	伝	12	
比率	100.0	69.5	5.4	7.1	3.9	11.4	2.7
実数	764	531	41	54	30	87	21

13. 不妊への影響について説明の有無

がん治療の不妊への影響について説明があったは12.0%。 具体的予防について説明があったは59.2%。

- がん治療が開始される前に、「不妊への影響がある、という説明を受けた」は9.9%、「不妊への影響がない、とい う説明を受けた」は2.1%で説明があったと回答した人は12.0%にとどまった。一方、「説明はなかった」は50.6%で あった。
- 「不妊への影響がある、という説明を受けた」人のうち、予防温存の具体的説明については、「具体的方法を説明 された」が40.8%、「具体的方法がないと説明を受けた人」は18.4%で、いずれかの説明を受けた人は59.2%と6 割程度。

問13. 最初のがん治療が開始される前に、その治療による不妊への影響について、医師から説明を受けましたか。(SA) 問14. がん治療により不妊になる可能性があることについて、それを予防する、あるいは妊娠する能力を温存するための 具体的方法を医師から説明されましたか。(SA)【問13で「説明を受けた」と回答した人】

【不妊への影響について説明の有無】

不妊への 影響がな 説明はな 単位:% い、という わからない 無回答 かった 説明を受 1+1-不妊への影響につ いての説明 50.6 9.3 28.1 (n=771) 2 1

説明が あった 計		全 体	説明を受けた不妊への影響がある	説明を受けたの影響がない	説明はなかった	わからない	無回答
12.0			という	という			
	比率	100.0	9.9	2.1	50.6	9.3	28.1
	実数	771	76	16	390	72	217

【具体的な説明】

単位:%

予防・温存 予防·温存 の具体的 の具体的 方法につ 方法はな 無回答 いて説明を いと説明さ 受けなかっ れた た

説明が あった 計 59.2

不妊予防について の説明(n=76)

18.4 23.7 5.3

	全 体	明された	いと説明された予防・温存の具体的方法はな	いて説明を受けなかった予防・温存の具体的方法につ	わからない	無回答
比率	100.0	40.8	18.4	23.7	11.8	5.3
実数	76	31	14	18	9	4

14. 院内スタッフの連携について

院内スタッフの連携については、「よく連携している」が57.7%、「ある程度連携している」34.2%も 含めると、9割以上が連携していると評価している。

● 院内スタッフの連携についての評価は、「よく連携している」(57.7%)、「ある程度連携している」(34.2%)の合計が91.9%であった。「あまり連携していない」(3.5%)、「まったく連携していない」(0.3%)の合計は3.8%にとどまった。

問15. あなたが治療を受けている病院では、診断・治療に関わる医師、看護師、他の医療スタッフはあなたから見て十分に連携していると思いますか。(SA)

【院内スタッフの連携について】



L	連携 ている 計	連携 して いない 計
	91.9	3.8

		全 体	よく連携している	ある程度連携している	あまり連携していない	まったく連携していない	どちらともいえない	わからない	無回答
L	比率	100.0	57.7	34.2	3.5	0.3	0.5	1.8	1.9
	実数	771	445	264	27	2	4	14	15

15. スタッフからの情報提供について

スタッフからの情報提供については、9割近くが情報を得られたと回答している。

● スタッフからの情報提供の評価は、「十分提供してくれた」(40.7%)、「ある程度得られた」(47.1%)の合計が87.8%であった。また、「あまり得られなかった」(5.7%)、「全く得られなかった」(0.6%)の合計は6.3%であった。

問16.「がん治療」を決めるまでの間、医師、看護師、他のスタッフは、治療について、あなたが欲しいと思った情報を提供しましたか。(SA)

【スタッフからの情報提供について】

あまり ある程度 どちらとも 単位:% 得られ 得られ いない/ 無回答 いえない 得られた なかった なかった わからない 医師からの情報提 47.1 5.7 **2.6** 1.6 供(n=771)

得られた 計	得られ なかった 計
87.8	6.3

0.61.7

	体	十分提供してくれた	ある程度得られた	あまり得られなかった	全く得られなかった	どちらともいえない	覚えていない/わからない	無回答
上率	100.0	40.7	47.1	5.7	0.6	1.7	2.6	1.6
実数	771	314	363	44	5	13	20	12

16. セカンドオピニオンについて

セカンドオピニオンについて、「必要だと思う」63.9%で、そのうち実際に「受けたことがある」人は25.6%と3割に満たない。セカンドオピニオンを受けた人の評価は「良かった」が85.7%と高いことから、受けやすい環境の整備が望まれる。

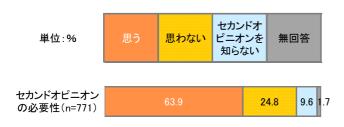
- セカンドオピニオンを必要と「思う」人は63.9%。「思わない」人は24.8%であった。また「セカンドオピニオンを知らない」(9.6%)も1割近くあった。
- セカンドオピニオンを知っている人の中で、セカンドオピニオンを「受けたことがある」人(25.6%)、「受ける予定がある」人(1.6%)の合計は27.2%で3割以下であった。
- セカンドオピニオンを受けた感想は、「良かった」が85.7%、「良くなかった」が2.4%、「どちらともいえない」が7.9%であった。

問17. 他の医師の意見(セカンドオピニオン)は必要だと思いますか。(SA)

問18、セカンドオピニオンを受けたことがありますか。(SA)【問17でセカンドオピニオンが必要と「思う」と回答した人】

問19. セカンドオピニオンを受けて良かったと思いますか。(SA))【問18でセカンドオピニオンを受けたことがある」と回答した人】

【セカンドオピニオンの必要性】



	全 体	思う	思わない	いセカンドオピニオンを知らな	無回答
比率	100.0	63.9	24.8	9.6	1.7
実数	771	493	191	74	13

【セカンドオピニオンを受けた経験】



	体体	受けたことがある	受ける予定がある	受けたことがない	無回答
比率	100.0	25.6	1.6	71.0	1.8
実数	493	126	8	350	9

【セカンドオピニオンを受けた感想】



	全 体	良かった	良くなかった	どちらともいえない	無回答
比率	100.0	85.7	2.4	7.9	4.0
実数	126	108	3	10	5

17. 緩和ケアについて(緩和ケアの認知度と実施すべきと思う時期)

緩和ケアについて、7割以上が知っていると回答しているが、よく知っている人は2割強であった。 緩和ケアを実施すべきと思う時期は、半数以上が「がんと診断されたときから」と回答している。

- 緩和ケアについて、「よく知っている人」は23.1%、「言葉だけは知っている」は51.5%で、知っている人の合計は74.6%であった。
- 緩和ケアを実施すべきと思う時期については、「がんと診断されたときから」が55.1%で最も高く、次が「がんが治る見込みがなくなったときから」(18.0%)であった。

問20. あなたは、がん医療における緩和ケアについて知っていますか。(SA)問21. あなたは、がんに対する緩和ケアはいつから実施されるべきものと思っていますか。(SA)【問20で緩和ケアについて「よく知っている」と回答した人】

【緩和ケアの認知度】



	全体	よく知っている	言葉だけは知っている	知らない	無回答
比率	100.0	23.1	51.5	23.3	2.1
実数	771	178	397	180	16

【緩和ケアの実施すべきと思う時期】

単位∶%	がんる 断され きか	たと療が	の治 る! 始まっ きから なく	んが治 見込み が なった きから	その他	わからない	無回答	
緩和ケアをする きタイミング (n=178)	×		55.1		12.9	18.0	5.6 5.6 2	2.8
	全 体	がんと診断されたときから	らがんの治療が始まったときか	たときからがんが治る見込みがなくなっ	その他	わからない	無回答	
比率	100.0	55.1	12.9	18.0	5.6	5.6	2.8	
実数	178	98	23	32	10	10	5	

17. 緩和ケアについて(「からだの苦痛」についての緩和ケア)

からだの苦痛についての緩和ケアを受けた経験がある人は3割に満たないが、緩和ケアを受けた人の9割以上が提供の対応に満足しており、約7割が症状が改善したと評価している。

- からだの苦痛についての緩和ケアを受けたことがある人は、27.0%であった。
- 緩和ケアの提供ですぐに対応してくれたと思った人は、「そう思う」(62.5%)、「ややそう思う」(29.2%)の合計で 91.7%であった。
- 緩和ケアを受けた結果、症状が改善したと思った人は、「そう思う」(39.6%)、「ややそう思う」(29.2%)の合計で 68.8%であった。

問22-1. 緩和ケアを受けた経験はありますか。(1)からだの苦痛(SA)【問20で緩和ケアについて「よく知っている」と回答した人】問22-2. 緩和ケアは希望に応じてすぐに提供されましたか。また、症状は改善しましたか。(SA) 【問22-1で「緩和ケア(からだ)を受けた経験がある」と回答した人】

≪からだの苦痛≫

【緩和ケアを受けた経験】



	全 体	ある	ない	無回答
比率	100.0	27.0	62.9	10.1
実数	178	48	112	18

【緩和ケアの提供、症状の改善】

単位:%	そう思う	ややそう思 う	どちら。 いえな		りそうそう	i思わな い	無回答	そう思う 計			
緩和ケアの提供 (1)すぐに対応し くれた(n=48)		62.5	5	6666		29.2	4.2 4.2	91.7			
緩和ケアの提供 (2)症状が改善し (n=48)		39.6		29.2		12.5	18.8	68.8			
				全 体	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	
	(1)すぐに対応してく	北上比	率	100.0	62.5	29.2	4.2	-	-	4.2	
	(1) 9 \ 1~XI/ID C C \	実	数	48	30	14	2	0	0	2	
	(2)症状が改善した	比	率	100.0	39.6	29.2	12.5	_	-	18.8	
	(2)症仏が以苦した	実	数	48	19	14	6	0	0	9	

17. 緩和ケアについて(「気持ちのつらさ」についての緩和ケア)

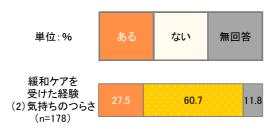
気持ちのつらさの緩和ケアを受けた経験がある人は、3割以下であった。 緩和ケアの提供の対応について満足している人は約7割で、症状が改善したと思う人は約6割で あった。

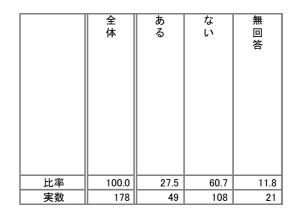
- 気持ちのつらさの緩和ケアを受けた経験がある人は、27.5%であった。
- 緩和ケアの提供ですぐに対応してくれたと思った人は、「そう思う」(61.2%)、「ややそう思う」(10.2%)の合計で 71.4%であった。
- 緩和ケアを受けた結果、症状が改善したと思った人は、「そう思う」(36.7%)、「ややそう思う」(28.6%)の合計で 65.3%であった。

問22-1. 緩和ケアを受けた経験はありますか。(1)気持ちのつらさ(SA)【問20で緩和ケアについて「よく知っている」と回答した人】問22-2. 緩和ケアは希望に応じてすぐに提供されましたか。また、症状は改善しましたか。(SA) 【問22-1で「緩和ケア(気持ちのつらさ)を受けた経験がある」と回答した人】

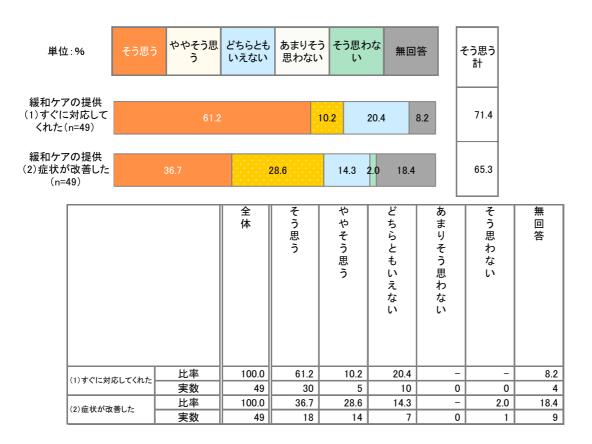
≪気持ちのつらさ≫

【緩和ケアを受けた経験】





【緩和ケアの提供、症状の改善】



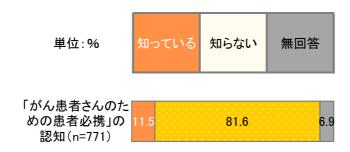
18. 患者必携の認知

「がん患者さんのための患者必携」について「知っている」は11.5%で、8割以上が知らないと回答しており、認知強化が今後の課題といえる。

●「がん患者さんのための患者必携」を「知っている」人は11.5%。「知らない」人は81.6%であった。

問23. 奈良県が緩和ケアの普及啓発を目的に発行している「がん患者さんのための患者必携」を知っていますか。(SA)

【患者必携の認知】



	体	知っている	知らない	無回答
比率	100.0	11.5	81.6	6.9
実数	771	89	629	53

19. 在宅医療移行時の情報伝達について

在宅医療施設に病院での情報が円滑に伝わったと思う人は15.4%。 約4割が在宅医療を利用しておらず、2割以上が情報が伝わったかどうかわからないと回答している。

● 在宅医療施設に病院での情報が円滑に伝わったと思う人は「そう思う」(10.5%)、「ややそう思う」(4.9%)の合計で15.4%であった。「退院後、診療所・在宅医療は利用していない」人が39.0%を占めており、また「わからない」と回答した人も23.5%であった。

問24. 病院から診療所・在宅医療(看護も含む)へ移った際、病院での情報が診療所・訪問看護ステーションに円滑に伝わったと思いますか。(SA)

【在宅医療移行時の情報伝達について】



そ う思う 計	思わない 計
15.4	3.7

	全 体	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	利用していない退院後、診療所・在宅医療は	わからない	無回答
上率	100.0	10.5	4.9	3.4	1.9	1.8	39.0	23.5	14.9
実数	771	81	38	26	15	14	301	181	115

20. 地域連携クリティカルパスの認知度

地域連携クリティカルパスについて「知っている」人は約1割にとどまっており、さらに「利用した」 人は全体の5%以下であった。病院からの説明を受けなかった人は8割を超えており、病院での 説明の強化が課題。

がんの治療中や経過観察中に、病院のがんの専門医(または主治医)とかかりつけ医が二人で連携して患者さんを診療していく制度、(地域連携クリティカルパス)について、「病院から説明を受け、この制度を利用している」人は4.4%、「病院から説明を受けたが、この制度は利用していない」人は1.9%、「病院から説明を受けなかったがこの制度の存在は知っている」人は5.1%で、制度を知っている人は合計で11.4%であった。病院から説明を受けなかった人が「知らなかった」79.1%と合計すると、84.2%であった。

問25. がんの治療中や経過観察中に、病院のがんの専門医(または主治医)とかかりつけ医が二人で連携して 患者さんを診療していく制度を知っていますか。

【地域連携クリティカルパスの認知度】



	全	度病	の病	いが病	=	無
	体	を院	制院	る、院	の	回
		利か	度か	こか	制	答
		用ら	はら	のら	度	
		し説	利説	制の	の	
		て明	用明	度説	存	
		いを	しを	の明	在	
		る受	て受	存は	を	
		け	いけ	在な	知	
		\ \ \	なた	はか	b	
		=	いが	知っ	な	
		の	`	った	い	
		制	こ	て		
比率	100.0	4.4	1.9	5.1	79.1	9.5
実数	771	34	15	39	610	73

21. 在宅緩和ケアについて(在宅緩和ケアの認知度と考え)

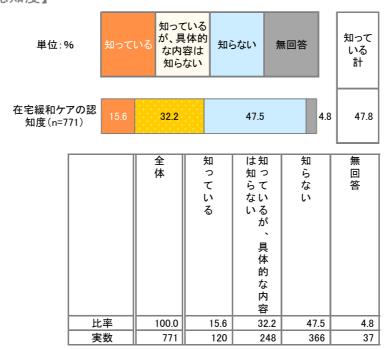
在宅緩和ケアについて47.8%が認知しているが、具体的な内容まで知っている人は全体の2割以下であった。知っている人の5割近くが在宅緩和ケアを受けることを希望しているが、そのうちの半数が受けるのが困難と感じている。また、実際に受けた人は2%に満たない。

- 在宅緩和ケアについて知っている人は、「知っている」(15.6%)、「知っているが、具体的な内容は知らない」 (32.2%)の合計で47.8%であった。
- 在宅緩和ケアを希望する人は、「受けたいし、実現可能だと思う」(25.0%)、「受けたいが、困難な気がする」 (24.2%)の合計で49.2%。在宅緩和ケアを「経験した(現在受けている)」は1.7%であった。

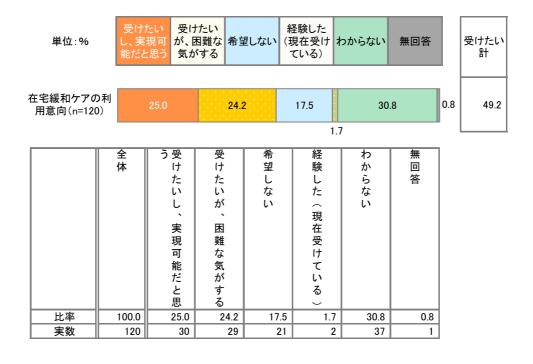
問26. 在宅緩和ケアを知っていますか。(SA)

問27. 在宅緩和ケアについて、どのようにお考えですか。(SA)【問26で「在宅緩和ケアを知っている」と回答した人】

【在宅緩和ケアの認知度】



【在宅緩和ケアの考え】



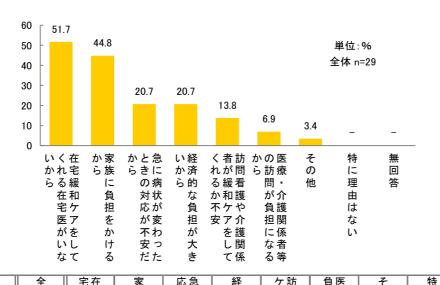
21. 在宅緩和ケアについて(在宅緩和ケアを困難と思う理由)

在宅緩和ケアを受けたいが困難だと思う理由は、「在宅緩和ケアをしてくれる在宅医がいないから」(51.7%)、「家族に負担をかけるから」(44.8%)が高い。

● 在宅緩和ケアを受けたいが困難だと思う理由は、「在宅緩和ケアをしてくれる在宅医がいないから」(51.7%)が最も高く、「家族に負担をかけるから」(44.8%)、「急に病状が変わったときの対応が不安だから」(20.7%)、「経済的な負担が大きいから」(20.7%)と続いた。

問28. 困難だと思う理由は何ですか。(MA)【問27で「在宅緩和ケアを受けたいが困難と感じている」と回答した人】

【在宅緩和ケアを受けたいが困難だと思う理由】



	体	七医がいないから七宅緩和ケアをしてくれる在	%族に負担をかけるから	心が不安だから 心に病状が変わったときの対	経済的な負担が大きいから	ソアをしてくれるか不安い問看護や介護関係者が緩和	5担になるから 医療・介護関係者等の訪問が	その他	特に理由はない	無回答	
比率	100.0	51.7	44.8	20.7	20.7	13.8	6.9	3.4	-	-	
実数	29	15	13	6	6	4	2	1	0	0	

22. がんで痛みを伴う場合の希望療養場所

がんで痛みを伴う場合に希望する療養場所で最も高いのは、「今まで通った病院」41.2%。

● がんで痛みをを伴う場合の療養場所として希望するのは「なるべく早く今まで通った病院に入院したい(または、 現在の病院に継続して入院したい)」(41.2%)が最も高く、次が「在宅療養を受けながら、自宅で療養したい」 (18.4%)であった。

問29. もし、がんが進行し、自宅や病院で療養中に、からだの苦痛や気持ちのつらさ等の症状の改善がみられない時、 療養場所を選択することができるとすれば、どこで過ごしたいと思いますか。(SA)

【がんで痛みを伴う場合の希望療養場所】

なるべく 早く緩和 在宅医療 ケア病棟 を受け 単位:% (ホスピス) ながら、 その他 わからない 無回答 (注参照) に入院 自宅で 療養したい したい

希望する療養場所 17.0 18.4 18.4 4.0 (n=771)0.9 | 続院な | スな | ししる | しる し在た宅 その わか

	, r	0て入院したい) 現在の病院に継がく早く今まで通った病院に入	(注参照)に入院したい。べく早く緩和ケア病棟(ホスピ	いに療を受けながら、自宅で療養	他	?らない	口答
比率	100.0	41.2	17.0	18.4	0.9	18.4	4.0
実数	771	318	131	142	7	142	31

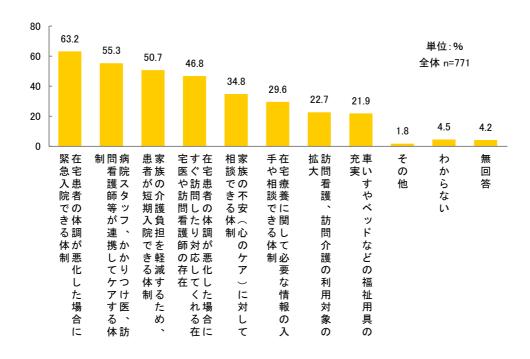
23. 自宅療養の条件

自宅療養の条件として回答が多かったのは、体調が悪化した場合に緊急入院できる体制、医師 や看護師らが連携してケアする体制、家族の介護負担軽減のために短期入院できる体制といっ た患者の症状に対応できる病院、医師、スタッフによるフォロー体制。

● 安心して自宅で療養するための条件で最も高いのは、「在宅患者の体調が悪化した場合に緊急入院できる体制」(63.2%)。「病院スタッフ、かかりつけ医、訪問看護師等が連携してケアする体制」(55.3%)、「家族の介護負担を軽減するため、患者が短期入院できる体制」(50.7%)、「在宅患者の体調が悪化した場合にすぐ訪問したり対応してくれる在宅医や訪問看護師の存在」(46.8%)が続く。

問30. 安心して自宅で療養するために必要なことは、何だと思いますか。(MA)

【自宅療養の条件】



		全体	に緊急入院できる体制在宅患者の体調が悪化した場合	る体制訪問看護師等が連携してケアす病院スタッフ、かかりつけ医、	め、患者が短期入院できる体制家族の介護負担を軽減するた	る在宅医や訪問看護師の存在にすぐ訪問したり対応してくれ在宅患者の体調が悪化した場合	て相談できる体制家族の不安(心のケア)に対し	入手や相談できる体制在宅療養に関して必要な情報の	の拡大の拡大。訪問介護の利用対象	の充実車いすやベッドなどの福祉用具	その他	わからない	無回答
	比率	100.0	63.2	55.3	50.7	46.8	34.8	29.6	22.7	21.9	1.8	4.5	4.2
L	実数	771	487	426	391	361	268	228	175	169	14	35	32

【その他の主な内容】*3件以上を抜粋 ・経済的負担の軽減

24. 家族への負担

7割以上の人が、がんになったことで家族に負担をかけていると感じており、全体の約4割強がよく感じると回答している。

● がんになったことで家族に負担をかけていると感じている人は、「よく感じる」(44.1%)、「時々感じる」(29.6%)の合計で73.7%。感じたことはない人は「あまり感じたことはない」(12.3%)、「まったく感じたことはない」(2.5%)の計14.8%であった。

問31. あなたは、現在がんになったことでご家族に負担をかけていると思いますか。(SA)

【家族への負担】



感じる 計	感じた ことは ない 計			
73.7	14.8			

	全 体	よく感じる	時々感じる	どちらともいえない	あまり感じたことはない	まったく感じたことはない	該当しない/わからない	無回答
比率	100.0	44.1	29.6	6.6	12.3	2.5	2.5	2.5
実数	771	340	228	51	95	19	19	19

25. 悩みを軽減してくれる支援の有無

患者の家族の悩みや負担を軽減してくれる支援について、十分あると回答した人は1.4%であった。

● がん患者の家族の悩みや負担をやわらげてくれる支援があると思う人は、「十分あると思う」はわずか1.4%、「十分ではないがある程度あると思う」が21.7%であった。不足していると思っている人は「やや不足していると思う」(12.1%)、「非常に不足していると思う」(12.8%)の合計で24.9%で、あると思う人(23.1%)を上回っている。

問32. 一般的にみて、がん患者の家族の悩みや負担をやわらげてくれる支援・サービス・場所があると思いますか。(SA)

【悩みを軽減してくれる支援の有無】



あると	不足
思う	している
計	計
23.1	24.9

	全 体	十分あると思う	ると思う十分ではないが、ある程度あ	どちらともいえない	やや不足していると思う	非常に不足していると思う	該当しない/わからない	無回答
比率	100.0	1.4	21.7	17.5	12.1	12.8	31.0	3.5
実数	771	11	167	135	93	99	239	27

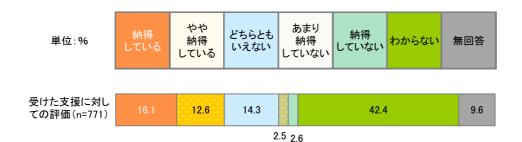
26. 受けた支援の納得感

これまで受けた支援に納得している人は3割以下にとどまった。また、わからないと回答している人が4割以上であった。

● これまでに受けた支援について、納得している人は「納得している」が16.1%、「やや納得している」(12.6%)も含めると28.7%であった。一方で、「あまり納得していない」が2.5%、「納得していない」が2.6%であった。

問33. あなたはこれまで受けた支援に納得していますか。(SA)

【受けた支援の納得感】



納得 している 計	納得 して いない 計
28.7	5.1

	全 体	納得している	やや納得している	どちらともいえない	あまり納得していない	納得していない	わからない	無回答
上率 上率	100.0	16.1	12.6	14.3	2.5	2.6	42.4	9.6
実数	771	124	97	110	19	20	327	74

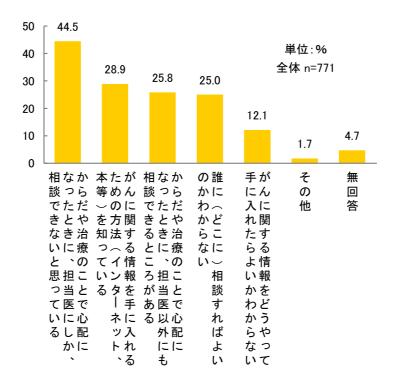
27. がん医療に関する相談支援、情報提供の現状

がん医療に関する相談支援や情報提供については、4割以上が担当医にしか相談できないと 思っており、「誰に相談すればよいのかわからない」「がんに関する情報をどうやって手に入れた らよいかわからない」という回答も少なくなく、十分な情報提供が求められる。

● がん医療に関する相談支援について、「からだや治療のことで心配になったときに、担当医にしか、相談できないと思っている」人が44.5%で最も高い。「がんに関する情報を手に入れるための方法(インターネット、本等)を知っている」(28.9%)、「からだや治療のことで心配になったときに、担当医以外にも相談できるところがある」(25.8%)、「誰に(どこに)相談すればよいのかわからない」(25.0%)が続いた。

問34. がん医療に関する相談支援及び情報提供についてあてはまるものをお答えください。(MA)

【がん医療に関する相談支援、情報提供の現状】



LL	全体	思っているきに、担当医にしか、相談できないとからだや治療のことで心配になったとな	ている 方法(インターネット、本等)を知っながんに関する情報を手に入れるためのな	ろがある きに、担当医以外にも相談できるとこからだや治療のことで心配になったとい	からない誰に(どこに)相談すればよいのかわな	れたらよいかわからないがんに関する情報をどうやって手に入り	その他	無回答
上率	100.0	44.5	28.9	25.8	25.0	12.1	1.7	4.7
実数	771	343	223	199	193	93	13	36

がんに関する情報の充実度について、病院の診療体制や治療状況を除いた全ての項目において、3割以上が情報が不十分であると回答している。特に、がん治療にかかる費用、経済的支援や社会保障制度、自宅での療養生活についての情報が不十分と思う人は4割を超えている。

- 治療方法についての情報については、「そう思う」が11.9%、「ややそう思う」(21.7%)も含めると、33.6%が情報が不十分と感じている。「あまりそう思わない」(19.1%)、「そう思わない」(11.5%)の合計は30.6%であった。
- 病院の診療体制や治療状況についての情報は、「そう思う」(7.4%)「ややそう思う」(17.4%)も含めると、24.8% が情報が不十分と感じており、「あまりそう思わない」(20.9%)、「そう思わない」(15.7%)の合計は36.6%であった。
- 緩和ケアについての情報については、「そう思う」が13.9%、「ややそう思う」(22.8%)も含めると、36.7%が情報が不十分と感じている。「あまりそう思わない」(10.2%)、「そう思わない」(5.8%)の合計は16.0%であった。また、「どちらともいえない」が33.7%で最も高い。
- がん治療にかかる費用についての情報については、「そう思う」が22.7%、「ややそう思う」(24.3%)も含めると、47.0%が情報が不十分と感じている。
- 経済的支援や社会保障制度などの情報については、「そう思う」が21.7%、「ややそう思う」(26.1%)も含めると、47.8%が情報が不十分と感じている。
- 自宅での療養生活についての情報は「そう思う」が17.8%、「ややそう思う」(25.0%)も含めると、42.8%が情報が不十分と感じている。
- がんの病態や統計データ等の情報については、「そう思う」が13.9%、「ややそう思う」(20.8%)も含めると、34.7% が情報が不十分と感じている。また、「どちらともいえない」が31.6%で最も高い。
- 日常生活を送るのに必要な情報については、「そう思う」が12.6%、「ややそう思う」(20.1%)も含めると、32.7%が 情報が不十分と感じている。

問35. あなたが知りたいがんに関する情報についてあてはまるものをお答えください。

【がんに関する 情報の充実度】	単位:%	そう思う どちらとも あまりそう そう 思わない 思わない 思わない	そう思う 計	思わ ない 計
	(1)がんの治療方 法についての情報 が不十分(n=771)	11.9 21.7 26.3 19.1 11.5 9.5	33.6	30.6
	(2)病院の診療 体制や治療状況 についての情報 が不十分(n=771)	7.4 17.4 27.4 20.9 15.7 11.3	24.8	36.6
	(3)緩和ケアに ついての情報が 不十分(n=771)	13.9 22.8 33.7 10.2 5.8 13.4	36.7	16.0
	(4)がん治療に かかる費用に ついての情報が 不十分(n=771)	22.7 24.3 21.7 12.3 7.7 11.4	47.0	20.0
	(5)経済的支援や 社会保障制度など の情報が不十分 (n=771)	21.7 26.1 21.0 11.8 7.1 12.3	47.8	18.9
	(6)自宅での療養 生活についての 情報が不十分 (n=771)	17.8 25.0 30.1 9.7 5.4 11.9	42.8	15.1
	(7)がんの病態や 統計データ等の 情報が不十分 (n=771)	13.9 20.8 31.6 13.6 7.4 12.7	34.7	21.0
	(8)日常生活を 送るのに必要な 情報が不十分 (n=771)	12.6 20.1 30.5 15.8 8.7 12.3	32.7	24.5

28. がんに関する情報の充実度(集計表)

問35. あなたが知りたいがんに関する情報についてあてはまるものをお答えください。

		体	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
(1)がんの治療方法についての情報が不十	比率	100.0	11.9	21.7	26.3	19.1	11.5	9.5
分	実数	771	92	167	203	147	89	73
(2)病院の診療体制や 治療状況についての	比率	100.0	7.4	17.4	27.4	20.9	15.7	11.3
情報が不十分	実数	771	57	134	211	161	121	87
(3)緩和ケアについて	比率	100.0	13.9	22.8	33.7	10.2	5.8	13.4
の情報が不十分	実数	771	107	176	260	79	45	103
(4)がん治療にかかる 費用についての情報	比率	100.0	22.7	24.3	21.7	12.3	7.7	11.4
が不十分	実数	771	175	187	167	95	59	88
(5)経済的支援や社会保障制度などの情報	比率	100.0	21.7	26.1	21.0	11.8	7.1	12.3
が不十分	実数	771	167	201	162	91	55	95
(6)自宅での療養生活	比率	100.0	17.8	25.0	30.1	9.7	5.4	11.9
についての情報が不	実数	771	137	193	232	75	42	92
(7)がんの病態や統計 データ等の情報が不	比率	100.0	13.9	20.8	31.6	13.6	7.4	12.7
十分	実数	771	107	160	244	105	57	98
(8)日常生活を送るのに必要な情報が不十	比率	100.0	12.6	20.1	30.5	15.8	8.7	12.3
分	実数	771	97	155	235	122	67	95

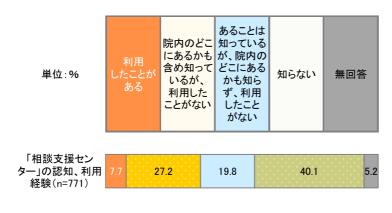
29. 相談支援センターの利用の有無

相談支援センターについては、半数以上の人があることは知っているが、実際に利用したことがある人は1割以下であった。

● 相談支援センターについて、「利用したことがある」は7.7%。「院内のどこにあるかも含め知っているが、利用したことがない」が27.2%、「あることは知っているが、院内のどこにあるかも知らず、利用したことがない」19.8%で、知っている人の合計は、54.7%であった。

問36. がん診療連携拠点病院等内に設置されているがんの「相談支援センター」を利用したことがありますか。(SA)

【相談支援センターの利用の有無】



利用し	知って
たことが	いる
ある	計
7.7	54.7

	全 体	利用したことがある	がない知っているが、利用したこと院内のどこにあるかも含め	利用したことがない内のどこにあるかも知らず、あることは知っているが、院	知らない	無回答
比率	100.0	7.7	27.2	19.8	40.1	5.2
実数	771	59	210	153	309	40

30. 患者サロンの認知度と知ったきっかけ

患者サロンの活動内容まで知っている人は全体の2割強。知っている人の知ったきっかけは、病 院からの配布物が最も高い。

- 患者サロンの認知度について、活動内容まで「知っている」が21.9%。「聞いたことはあるが、どのような活動をしているのか知らない」が24.5%、「知らない」が49.8%であった。
- 患者サロンを知っている人の知ったきっかけについては、「病院からの配布物(院内放送等も含む)」が57.4%で 最も高く、「病院の医師、看護師等スタッフからの説明」(26.6%)、「行政機関が発行したチラシ」(19.5%)と続く。

問37. 「患者サロン」(がん患者やその家族など、同じ立場の人が、がんのことを含めて気軽に語り合う交流の場)があることを知っていますか。(SA)

問38. 患者サロンについて、どこで知りましたか。(MA)【問37で「患者サロン」を「知っている」と回答した人】

【「患者サロン」の認知】

単位:%

聞いたこと はあるが、 どのような 活動をして いるのか 知らない	40 C + 21 \	無回答
--	-------------	-----

「患者サロン」の認 知(n=771)

21.9	24.5	49.8	3.8

	全 体	知っている	ないうな活動をしているのか知ら聞いたことはあるが、どのよ	知らない	無回答
上率 上率	100.0	21.9	24.5	49.8	3.8
実数	771	169	189	384	29

【「患者サロン」を知ったきっかけ】

80		-							
60	57.4					₹	単位∶% È体 n=16	9	
40		26.6	19.5						
20	-			11.2	3.6	1.8	3.0	6.5	
0	送等も含む) 病院からの配布物(院内放	タッフからの説明 病院の医師、看護師等ス	行政機関が発行したチラシー	ジ等のでは、新聞、ホームペー	知人や家族から聞いた	活動しているところを見た	その他	無回答	その病

【その他の主な内容】*3件以上を抜粋 ・病院の掲示板

	体	等も含む) 保内放送	フからの説明病院の医師、看護師等スタッ	行政機関が発行したチラシ	等テレビ、新聞、ホームページ	知人や家族から聞いた	活動しているところを見た	その他	無回答
比率	100.0	57.4	26.6	19.5	11.2	3.6	1.8	3.0	6.5
実数	169	97	45	33	19	6	3	5	11

31. がん治療中の就労についての認識

がん患者の約半数が、現在の日本はがん治療を受けながら働き続けられる環境とは思っていない。

● 現在の日本は、がん治療を受けながら、働き続けられる環境であると思う人は、「そう思う」はわずかに6.7%。「どちらかといえばそう思う」(20.9%)を含めても27.6%であった。「そう思わない」は21.8%で、「どちらかといえばそう思わない」(27.6%)も含めると49.4%であった。

問39. 現在の日本は、がん治療を受けながら、働きつづけられる環境だと思いますか。(SA)

【がん治療中の就労についての認識】

単位:%	そう思う	どちらかと いえばそう 思う	どちらかと いえばそう 思わない	そう思わな い	わからない	無回	答
がん治療を受けな がら、働きつづけら れる環境か	6.7	0.9	27.6	21	.8	19.6	3.4

そう思う	思わない
計	計
27.6	49.4

	全 体	そう思う	どちらかといえばそう思う	いどちらかといえばそう思わな	そう思わない	わからない	無回答
比率	100.0	6.7	20.9	27.6	21.8	19.6	3.4
実数	771	52	161	213	168	151	26

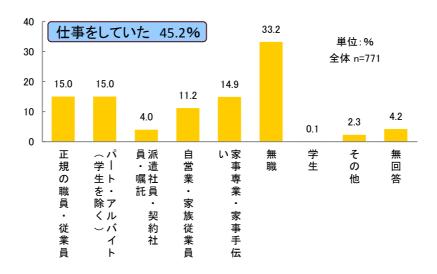
32. がん診断時の就労状況

がん診断時の就労状況は、仕事をしていた人は45.2%であった。

がん診断時の就労状況は、「無職」が33.2%、「正規の職員・従業員」、「パート・アルバイト(学生を除く)」が各15.0%、「自営業・家族従業員」(11.2%)「派遣社員・契約社員・嘱託」(4.0%)も含めると、何かしらの仕事に就いている人は45.2%であった。

問40. がんと最初に診断された時の、患者さんご本人の就労状況について教えてください。(SA)

【がん診断時の就労状況】



	体	正規の職員・従業員	除く)	派遣社員・契約社員・嘱託	自営業・家族従業員	家事専業・家事手伝い	職	生生	その他	無回答
比率	100.0	15.0	15.0	4.0	11.2	14.9	33.2	0.1	2.3	4.2
実数	771	116	116	31	86	115	256	1	18	32

33. がん治療への事業者の理解・支援

仕事の継続に対する事業主の理解・支援について、8割近くが得られたと回答している。

● 仕事の継続に対する事業主の理解・支援については、「十分得られた」が46.0%、「ある程度得られた」(31.6%) も含めると、77.6%が理解・支援を得られたと回答している。「得られなかった」は6.5%であった。

問41. がんと診断され、検査や治療が進む中、仕事の継続に対する事業主の理解・支援は得られましたか。(SA) 【問40で「正規の職員・従業員」「パート・アルバイト」・「派遣社員・契約社員・嘱託」と回答した人】

【がん治療への事業者の理解・支援】



	体体	十分得られた	ある程度得られた	得られなかった	理解・支援は必要なかった	その他	無回答
比率	100.0	46.0	31.6	6.5	9.1	5.3	1.5
実数	263	121	83	17	24	14	4

【その他の主な内容】*3件以上を抜粋・退職した

34. がん治療による就労状況の変化

がん治療で初めて治療・療養した時の就労状況の変化については、約4割が一定期間休み、その後、復職、復帰している。一方で、休まなかった人も2割弱存在する。

● がん治療で初めて治療・療養した時の就労状況の変化については、「一定期間休み、その後、復職・復帰した」が42.2%で最も高く、「休まなかった」(19.0%)、「現在まで継続して休んでいる」(12.2%)と続いた。

問42. がんで初めて治療・療養した時、一定期間(連続して3か月以上)仕事を休みましたか。また、その後復職・復帰しましたか。(SA) 【問40で「正規の職員・従業員」「パート・アルバイト」・「派遣社員・契約社員・嘱託」と回答した人】

【がん治療による就労状況の変化】

年位: %		
就労状況の変化 (n=263) 19.0 12.2 42.2 4.6	7.2 4.2	2 6.8
全体	その他	無回答
比率 100.0 19.0 12.2 42.2 3.8 4.6 7.2 実数 263 50 32 111 10 12 19	4.2	6.8

【その他の主な内容】*3件以上を抜粋 ・復職はしたが、その後退職・休職

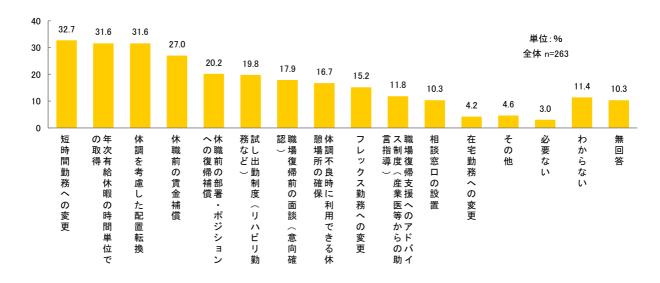
35. がん患者が望む就労制度

就労継続のために必要だと思う制度として、短時間勤務、有給休暇の時間単位での取得、体調を考慮した配置転換といった治療をしながら働ける体制と賃金補償が求められている。

就労継続のために必要だと思う制度は、「短時間勤務への変更」が32.7%で最も高く、「年次有給休暇の時間単位での取得」(31.6%)、「体調を考慮した配置転換」(31.6%)、「休職前の賃金補償」(27.0%)と続く。

問43. 仕事を継続する上で、どのような対応・制度が必要だと思いますか。(MA) 【問40で「正規の職員・従業員」「パート・アルバイト」・「派遣社員・契約社員・嘱託」と回答した人】

【がん患者が望む就労制度】



	体体	短時間勤務への変更	取得年次有給休暇の時間単位での	体調を考慮した配置転換	休職前の賃金補償	の復帰補償休職前の部署・ポジションへ	など) 試し出勤制度(リハビリ勤務	認) 職場復帰前の面談(意向確	場所の確保体調不良時に利用できる休憩	フレックス勤務への変更	導) 制度(産業医等からの助言指職場復帰支援へのアドバイス	相談窓口の設置	在宅勤務への変更	その他	必要ない	わからない	無回答
比率	100.0	32.7	31.6	31.6	27.0	20.2	19.8	17.9	16.7	15.2	11.8	10.3	4.2	4.6	3.0	11.4	10.3
実数	263	86	83	83	71	53	52	47	44	40	31	27	11	12	8	30	27

36. がんでの退職・廃業の有無

がんでの退職・廃業について、がん患者の半数以上は、退職・廃業はしていない。しかし、わずかではあるが、再就職、復業の希望があるにも関わらずできていない人たちがいる。

● がん治療・療養のための退職・廃業について、「退職・廃業をしたことはない(休職・休業中を除く)」が54.2%、「退職・廃業をしたことがあるが、現在は再就職・復業・開業している」が7.2%、「退職・廃業をした。希望はあるが、現在は再就職・復業・開業していない」が6.0%、「退職・廃業をした。特に希望はないため、現在は再就職・復業・開業していない」が13.8%であった。

問44. がん治療・療養のための退職・廃業の有無と、現在の仕事の状況について、教えてください。(SA) 【問40で「正規の職員・従業員」「パート・アルバイト」「派遣社員・契約社員・嘱託」「自営業・家族従業員」と回答した人】

【がんでの退職・廃業の有無】

単位:%

退職·廃業 退職・廃業 退職・廃業 をした。特 をしたことをした。希 に希望は があるが、 望はある ないため、 現在は再 が、現在は その他 無回答 現在は再 就職・復 再就職・復 就職•復 業・開業し 業・開業し 業・開業し ている ていない ていない

がんでの退職・廃 業の有無(n=349) 54.2 7.2 6.0 13.8 8.6 10.3

	全	〜 退	業が退	開る退	復は退	そ	無
	퓼						
	体	休職	し、職	業が職	業な職	の	
		職•	て現・	しい・	- い・	他	答
		• 廃	い在廃	て現廃	開た廃		
		休業	るは業	い在業	業め業		
		業を	再を	なはを	し、を		
		申し	就し	い再し	て現し		
		をた	職た	就た	い在た		
		除こ	・こ	職。	なは。		
		(と	復と	• 希	い再特		
		〜は	業が	復望	就に		
		な	・あ	業は	職希		
		い	開る	・あ	・望		
比率	100.0	54.2	7.2	6.0	13.8	8.6	10.3
実数	349	189	25	21	48	30	36

【その他の主な内容】*3件以上を抜粋 ・休職中

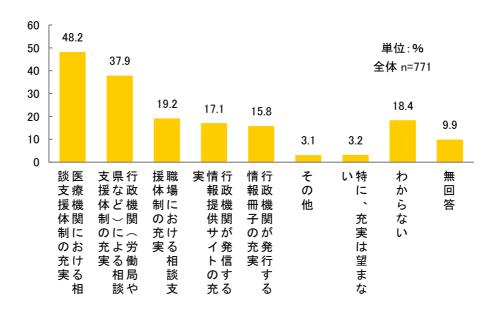
37. 経済的、就労に関して望まれる情報提供

生活上の困難なことについて情報提供の充実を望まれているものは、医療機関や行政機関、職場においての相談支援体制の充実であった。

● 生活上の困難なことに関しての情報提供で望まれているものは、「医療機関における相談支援体制の充実」が 48.2%で最も高く、「行政機関(労働局や県など)による相談支援体制の充実」(37.9%)、「職場における相談支援 体制の充実」(19.2%)と続いた。

問45. 生活上の困難(経済的なこと、就労のことなど)に関して情報提供や相談支援を受ける場合、どのような点について充実を望みますか。(MA)

【経済的、就労に関して望まれる情報提供】



	体	制の充実医療機関における相談支援体	による相談支援体制の充実行政機関(労働局や県など)	充実 飛場における相談支援体制の	サイトの充実行政機関が発信する情報提供	の充実の充実行する情報冊子	その他	特に、充実は望まない	わからない	無回答
上率	100.0	48.2	37.9	19.2	17.1	15.8	3.1	3.2	18.4	9.9
実数	771	372	292	148	132	122	24	25	142	76

【その他の主な内容】*3件以上を抜粋 ・医療にかかる費用

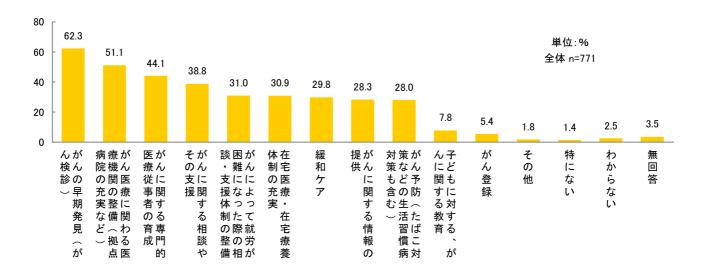
38. がん対策について県に望むこと

がん対策について県に力を入れてほしいこととしては、がんの早期発見、医療機関の整備、がんに関する専門的医療従事者の育成などが挙げられる。

● がん対策について、奈良県に力を入れてほしいものは、「がんの早期発見(がん検診)」が62.3%が最も高く、「がん医療に関わる医療機関の整備(拠点病院の充実など)」(51.1%)、「がんに関する専門的医療従事者の育成」(44.1%)と続く。

問46. がん対策について、奈良県としてどういったことに力を入れてほしいと思いますか。(MA)

【がん対策について県に望むこと】



	全 体	がんの早期発見(がん検診	整備(拠点病院の充実などがん医療に関わる医療機関	者の育成がんに関する専門的医療従	がんに関する相談やその支	整備をの相談・支援体制がんによって就労が困難に	実在宅医療・在宅療養体制の	緩和ケア	がんに関する情報の提供	生活習慣病対策も含む)がん予防(たばこ対策など	る教育子どもに対する、がんに関	がん登録	その他	特にない	わからない	無回答
					支援					خ ص	関す					
比率	100.0	62.3	51.1	44.1	38.8	31.0	30.9	29.8	28.3	28.0	7.8	5.4	1.8	1.4	2.5	3.5
実数	771	480	394	340	299	239	238	230	218	216	60	42	14	11	19	27

【その他の主な内容】*3件以上を抜粋 ・医療費の軽減

39. 療養生活を送る中で、よかったこと、不満だったこと

療養生活を送る中で、よかったと感じたことは、「医師や看護師、病院スタッフの対応」が最も多かった。一方、不満に感じたことについても「医師や看護師、病院スタッフの対応」が最も多く、医師やスタッフの対応が患者に与える影響が最も多かった。

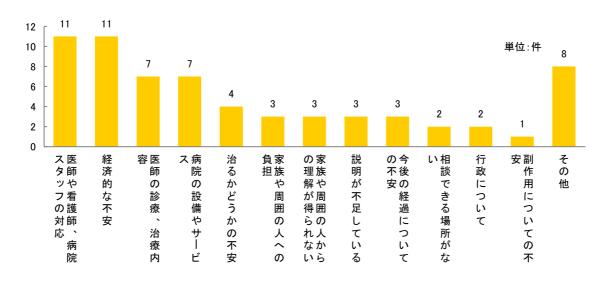
- 療養生活を送る中で、よかったと感じたことを自由記述で回答してもらったものを分類した結果、「医師や看護師、病院スタッフの対応」が81件で最も多い。続いて、「家族や周囲の人との関係」が25件、「医師の診察、治療内容」が24件であった。
- 一方、不満に感じたことは、「医師や看護師、病院スタッフの対応」と「経済的な不安」がともに11件であった。

問47. 療養生活を送る中で、よかったと感じたこと、また、不満や疑問に感じたことがあれば自由にご記入ください。(FA)

【よかったこと】



【不満、不安】



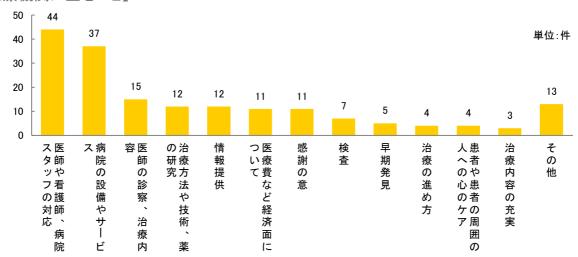
医療機関への意見については、医師や看護師、病院スタッフの対応についてが最も多く、次が待ち時間短縮といった病院の設備やサービスについてであった。

行政に望むことは、経済的支援を求める声が多かった。

- 医療機関や行政に対してがん医療に関しての要望やご意見を自由記述で回答してもらったものを分類した結果、 医療機関への要望や意見においては、「患者に対して安心できる対応をして欲しい」、「医師はじめ、スタッフー同の親切・丁寧な対応に感謝している」といった、「医師や看護師、病院スタッフの対応」が44件と最も多く、次が「待ち時間を短縮出来ないか」といった、「病院の設備やサービス」(37件)についての意見であった。
- 行政へ望むことについては、「がんの治療費を安くしてほしい」といった「経済的な支援」を望む声が67件であり、 その他では、「自分が住む府でのがん医療に対する情報も知りたい」といった「情報提供」(26件)、「検診を受け やすくして欲しい」といった「検診の充実、奨励」(13件)の意見であった。

問48. 医療機関や行政に対し、がん医療に関して何かご意見があれば、自由にご記入ください。(FA)

【医療機関に望むこと】



【行政に望むこと】



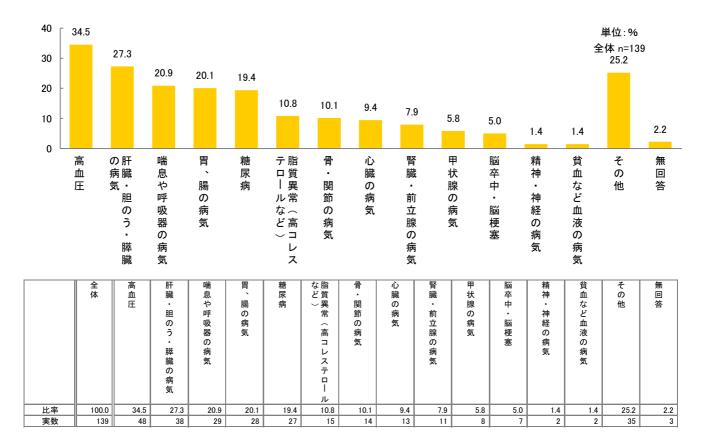
41. がん以外の治療中の疾患

非がん患者が治療中の病気は、高血圧が3割以上で最も高く、肝臓・胆のう・膵臓の病気、喘息や呼吸器の病気、胃・腸の病気と続いた。

● 治療中の病気は、「高血圧」が34.5%で最も高く、「肝臓・胆のう・膵臓の病気」(27.3%)、「喘息や呼吸器の病気」(20.9%)、「胃、腸の病気」(20.1%)、「糖尿病」(19.4)%と続いた。

問49. あなたが治療中の病気で、あてはまるものをお答えください。(MA)

【がん以外の治療中の疾患】



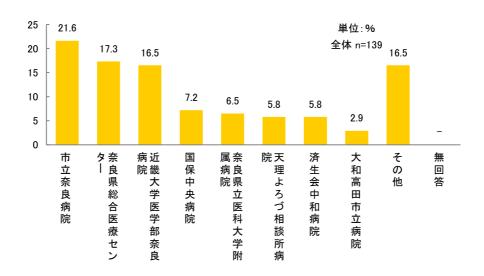
42. 治療中の医療機関

治療のためにかかっている病院は、市立奈良病院が最も高く、次いで奈良県総合医療センター、近畿大学医学部奈良病院であった。

● 治療中の医療機関は、「市立奈良病院」が21.6%で最も高く、「奈良県総合医療センター」(17.3%)、「近畿大学医学部奈良病院」(16.5%)と続く。

問50. 現在治療(または経過観察)のために、かかっている病院はどちらですか。(SA)

【治療中の医療機関】



	全 体	市立奈良病院	奈良県総合医療センター	近畿大学医学部奈良病院	国保中央病院	奈良県立医科大学附属病院	天理よろづ相談所病院	済生会中和病院	大和高田市立病院	その他	無回答
比率	100.0	21.6	17.3	16.5	7.2	6.5	5.8	5.8	2.9	16.5	_
実数	139	30	24	23	10	9	8	8	4	23	0

【その他の主な内容】*3件以上を抜粋

[•]恵王病院

[・]高井病院

[•]奈良小南病院

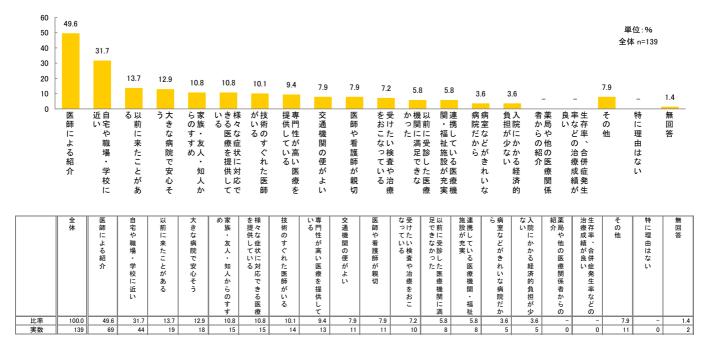
43. 医療機関を選んだ理由

現在かかっている病院を選んだ理由で最も高いのは、医師による紹介。次が自宅や職場・学校に近いであった。

● 現在かかっている病院を選んだ理由は、「医師による紹介」(49.6%)が最も高く、「自宅や職場・学校に近い」 (31.7%)、「以前に来たことがある」(13.7%)と続いた。

問51. 現在かかっている病院を選んだ理由は何ですか。(MA)

【医療機関を選んだ理由】



【その他の主な内容】*3件以上を抜粋 ・救急で運ばれた

44. 医療機関の情報入手先

現在かかっている医療機関の情報入手先は、医師、知人、家族からといった面識のある人からで、その他の情報源はほとんど活用されていない。また、特に情報を入手していない人も2割いる。

● 現在かかっている医療機関の情報入手経路は、「医師(かかりつけ医)からの情報」(44.6%)が最も高い。次が「知人や家族からの情報」(23.7%)でそれ以外はいずれも1割以下であった。また、「特に情報は入手していない」(23.0%)という人も2割存在する。

問52. 現在かかっている病院を選ぶにあたり、どこから情報を入手しましたか。(MA)

【医療機関の情報入手先】



	全体	情報医師(かかりつけ医)からの	知人や家族からの情報	医療機関の相談窓口	トの情報病院が発信するインターネッ	パンフレット行政機関が発行する広報誌や	るインター ネットの情報病院・行政機関以外が発信す	どの広告病院の看板やパンフレットな	ビ・ラジオの番組新聞・雑誌・本の記事やテレ	行政機関の相談窓口	ネットの情報行政機関が発信するインター	その他	特に情報は入手していない	無回答
比率	100.0	44.6	23.7	5.8	3.6	3.6	2.2	1.4	1.4	0.7	0.7	7.9	23.0	3.6
実数	139	62	33	8	5	5	3	2	2	1	1	11	32	5

45. スタッフからの情報提供、医療情報の収集状況

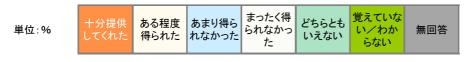
病院スタッフからの情報提供については、9割以上がある程度満足している。患者自身による医療情報の収集状況においては、7割以上がある程度は得られていると回答しているが、十分得られていると回答した人は2割以下であった。

- スタッフからの情報提供については、「十分提供してくれた」(43.9%)で、「ある程度得られた」(46.8%)も含めると 90.7%が情報提供についてある程度満足している。
- 普段欲しいと思った医療情報については、「十分得られている」(15.8%)、「ある程度得られている」(58.3%)を含めると74.1%は情報を得られていると回答している。

問53. あなたが受診している病院での医師、看護師、その他の医療スタッフは、その病気についてあなたが欲しいと思った情報を提供していますか。(SA)

問54. あなたは、普段欲しいと思った医療情報を得られていますか。情報源は問いません。(書籍・インターネットを含む)(SA)

【スタッフからの情報提供】

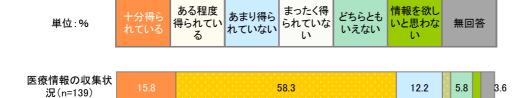


得られた 計 得られな かった 計 90.7 4.3

スタッフからの情報 提供(n=139)	43.9	46.8 3.6 2.9
		0.71.4 0.7

	体	十分提供してくれた	ある程度得られた	あまり得られなかった	まったく得られなかった	どちらともいえない	覚えていない/わからない	無回答
比率	100.0	43.9	46.8	3.6	0.7	1.4	0.7	2.9
実数	139	61	65	5	1	2	1	4

【医療情報の収集状況】



得られた 計	得られて いない 計
74.1	14.4

2.2

2.2

	体	十分得られている	ある程度得られている	あまり得られていない	まったく得られていない	どちらともいえない	情報を欲しいと思わない	無回答
比率	100.0	15.8	58.3	12.2	2.2	5.8	2.2	3.6
実数	139	22	81	17	3	8	3	5

46. 院内スタッフの連携の有無

院内スタッフの連携については、9割近くが連携していると評価している。

● 院内スタッフの連携については、「よく連携している」が44.6%で、「ある程度連携している」(44.6%)も含めると89.2%が連携していると評価している。

問55. あなたが治療を受けている病院では、診断・治療に関わる医師、看護師、他の医療スタッフはあなたから見て十分に連携していると思いますか。(SA)

【院内スタッフの連携の有無】



連携して	連携して
いる	いない
計	計
89.2	4.3

	全 体	よく連携している	ある程度連携している	あまり連携していない	まったく連携していない	どちらともいえない	わからない	無回答
比率	100.0	44.6	44.6	2.9	1.4	0.7	3.6	2.2
実数	139	62	62	4	2	1	5	3

47. 医療に関する相談支援場所の有無

病気や健康について相談できる場所があると回答した人は6割強であった。

● 病気や健康に関する相談ができる場所について、「ある」は64.0%、「ない」は「28.8%」であった。

問56. あなたは、病気や健康に関する様々な疑問について相談できる場がありますか。(SA)

【医療に関する相談支援場所の有無】



	全 体	ある	ない	相談を必要としていない	無回答
比率	100.0	64.0	28.8	4.3	2.9
実数	139	89	40	6	4

48. 就労についての認識

現在の日本は、かかっている病気の治療を受けながら働き続けられる環境だと思う人は、5割以 下にとどまった。

● 現在の日本は、かかっている病気の治療を受けながら働き続けられる環境だと思う人は、「そう思う」が16.5%、 「ややそう思う」(29.5%)を含めると46.0%であった。

問57. 現在の日本は、あなたがかかっている疾病の治療を受けながら、働き続けられる環境だと思いますか。(SA)

【就労についての認識】

単位:%	そう思う	ややそう思 う	あまり思わない	まったく思 わない	わからない	無回答	
働きつづけられる 環境かどうか (n=139)	16.5	29.	5	27.3	6.5	15.8 4.	3

そう思う	思わない
計	計
46.0	33.8

	体	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	まったく思わない	わからない	無回答
比率	100.0	16.5	29.5	27.3	6.5	15.8	4.3
実数	139	23	41	38	9	22	6

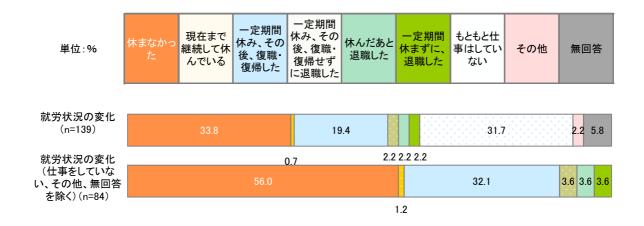
49. 就労状況の変化

治療による就労状況の変化について、もともと仕事をしていなかった人が3割以上。仕事をしていた人でみると、半数以上が仕事を休んでおらず、休んだ人もほとんどが一定期間休んだ後、復帰・復職している。

● 病気の治療による就労状況の変化については、「もともと仕事はしてない」(31.7%)人が3割以上おり、それらを除いた仕事をしていた人のうち、「仕事を休まなかった」人が56.0%、「一定期間休み、その後復職・復帰した」人が32.1%で、それ以外はほとんど見られなかった。

問58. これまで病気の治療のために、一定期間(連続して3か月以上)仕事を休んだことはありますか。その後、復職・復帰しましたか。(SA)

【就労状況の変化】



	全 体	休まなかった	現在まで継続して休んでいる	職・復帰した一定期間休み、その後、復	職・復帰せずに退職した一定期間休み、その後、復	休んだあと退職した	一定期間休まずに、退職した	もともと仕事はしていない	その他	無回答
比率	100.0	33.8	0.7	19.4	2.2	2.2	2.2	31.7	2.2	5.8
実数	139	47	1	27	3	3	3	44	3	8

50. 仕事上の関係者の支援、配慮

仕事をしている人の過半数は、仕事と治療の両立について仕事上の関係者が支援、配慮をして くれると思っている。ただし、まったく思わないと回答している人も1割存在する。

● 仕事上の関係者の仕事と治療の両立についての支援、配慮をしてくれると思う人について、「もともと仕事をしていない」人が28.1%おり、それらを除いた仕事をしていた人のうちでみると、「そう思う」が30.0%。「ややそう思う」(22.2%)も含めると52.2%であった。一方で、「まったく思わない」も10.0%であった。

問59. 病気の治療のために、一定期間(連続して3か月以上)仕事を休まなければならないとしたらあなたの仕事上の関係者は、 仕事と治療の両立について、支援または配慮をしてくれると思いますか。(SA)

【仕事上の関係者の支援、配慮】



そう思う 計	思わない 計
33.8	23.0
52.2	35.6

	全 体	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	まったく思わない	わからない	もともと仕事はしていない	その他	無回答
比率	100.0	19.4	14.4	16.5	6.5	7.9	28.1	1.4	5.8
実数	139	27	20	23	9	11	39	2	8

51. 患者が感じる家族への負担

患者の8割近くが病気になったことで家族に負担をかけていると感じている。

● 病気になったことで家族に負担をかけていると感じている人は、「よく感じる」が43.9%、「ときどき感じる」(32.4%) も含めると76.3%であった。

問60. あなたは病気になったことで、ご家族に負担をかけていると感じますか。(SA)

【患者が感じる家族への負担】



感じる 計	感じたこ とはない 計	
76.3	15.1	

	体体	よく感じる	ときどき感じる	あまり感じたことはない	まったく感じたことはない	該当しない/わからない	無回答
比率	100.0	43.9	32.4	12.2	2.9	5.0	3.6
実数	139	61	45	17	4	7	5

52. 医療の進歩に対する実感

8割以上の人が、数年前と比べて受けられる医療が進歩したと思っている。

● 一般の人が受けられる医療が数年前と比べて進歩したと思う人は、「そう思う」が58.3%。「ややそう思う」 (26.6%)も含めると84.9%であった。

問61. 一般の人が受けられる医療は数年前と比べて進歩したと思いますか。(SA)

【医療の進歩に対する実感】



そう思う 計	思わない 計
84.9	7.2

	全 体	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	まったく思わない	どちらともいえない	わからない	無回答
比率	100.0	58.3	26.6	7.2	_	1.4	5.0	1.4
実数	139	81	37	10	0	2	7	2

53. 治療に対する納得感

これまで受けた治療について、9割以上が納得している。

● これまでに受けた治療について、「納得している」が53.2%で、「やや納得している」(38.1%)も含めると91.3%であった。

問62. あなたはこれまで受けた治療に納得していますか(SA)

【治療に対する納得感】



納得して	納得して
いる	いない
計	計
91.3	3.6

	全 体	納得している	やや納得している	あまり納得していない	まったく納得していない	どちらともいえない	わからない	無回答	
比率	100.0	53.2	38.1	2.9	0.7	2.9	-	2.2	
実数	139	74	53	4	1	4	0	3	

54. 自分らしい日常生活への実感

自分らしい日常生活を送れていると感じている人は全体の7割強であった。

● 現在自分らしい日常生活を送れていると思う人は、「そう思う」が43.2%、「ややそう思う」(30.2%)も含めると 73.4%であった。

問63. 現在自分らしい日常生活を送れていると感じていますか。(SA)

【自分らしい日常生活への実感】



そう思う	思わない
計	計
73.4	20.9

	全 体	そう思う	ややそう思う	あまり思わない	まったく思わない	わからない	無回答
上率	100.0	43.2	30.2	15.1	5.8	4.3	1.4
実数	139	60	42	21	8	6	2

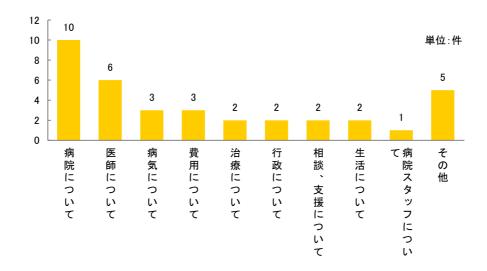
55. ご意見・ご感想

自分らしい日常生活を送れていると感じている人は全体の7割強であった。

● 意見、感想を自由記述で回答してもらったものを分類した結果、最も多かった意見は、「駐車場が少ない」といった「病院についての意見」が10件で最も多く、次が「医師について」(6件)の意見であった。

問64 ご意見・ご感想など、ご自由にご記入ください。(FA)

【ご意見・ご感想】



Ⅲ. 調査票

ならの患者体験調査 調査票

- F1 このアンケートの記入者はどなたですか。【〇はひとつだけ】
- 1. 患者さんご本人が記入 2. ご家族の方などが協力して記入

■ 以下の質問は、患者さんご本人についてご記入ください。

F2 患者さんご本人の現在の年齢は、何歳代ですか。 ____)歳代

F3 患者さんご本人の性別を教えてください。【〇はひとつだけ】

1. 男

2. 女

F4 患者さんご本人が現在お住まいの市町村はどちらですか。

_____) 都・道・府・県 (__ ____) 市・町・村

F5 患者さんはがんと診断されたことがありますか。【Oはひとつだけ】

1. ない

2. ある



ある方



問1~問48

をお答えください。

ない方



問49~問64

をお答えください。

がんと診断されたことが**ある方へ**お伺いします。 問1~問48をお答えください。

問1 がんと最初に診断されたのは、いつ頃ですか。

昭	和 ・ 平成年	月頃	
問2	最初にがんと診断された部位は	どこですか。【Oはひとつだけ】	
1. 2. 3.	肺 5. すい臓 食道 6. 大腸 胃 7. 血液・ 肝臓 8. 前立腺	9. 乳房 10. 子宮 リンパ 11. 卵巣 12. その他(
問3		※)のためにかかっている病院はどこですか	【○けひとつだけ】
1. 2. 3.	奈良県立医科大学附属病院 奈良県総合医療センター 天理よろづ相談所病院	6. 国保中央病院 7. 済生会中和病院 8. 大和高田市立病院	
4. 5.	近畿大学医学部奈良病院 市立奈良病院	9. その他()
	(注)かかりつけ医:地域の病院や言等ができる医	診療所の医師。身近な地域で日常的な医療を受けたり 雨のこと。 かかりつけ医での通院なしも含む)	り、あるいは健康の相談
問 4	現在のがんの治療状況を教えて		
l. 3	台療の開始前 台療を継続中 台療が終わり経過観察や定期検査中 台療後、5 年程度を経て、がんの再 その他(発が見られず、特に治療はしていない状態	
問5	がんと診断されてからこれまで	受けたがん治療を教えてください。【Oはい	くつでも】
	手術 内視鏡治療	5. 放射線治療 6. 治療をしていない	

問6 現在かかっている病院を選んだ理由は何ですか。【〇は3つまで】

- 1. 医師による紹介
- 2. 家族・友人・知人からのすすめ
- 3. 薬局や他の医療関係者からの紹介
- 4. 自宅や職場・学校に近い
- 5. 交通機関の便がよい
- 6. 以前に来たことがある
- 7. 以前に受診した医療機関に満足できなかった 17. 連携している医療機関・福祉施設が充実
- 8. 大きな病院で安心そう
- 9. 病室などがきれいな病院だから
- 10. 医師や看護師が親切

- 11. 技術のすぐれた医師がいる
- 12. 専門性が高い医療を提供している
- 13. 様々な症状に対応できる医療を提供している
- 14. 受けたい検査や治療をおこなっている
- 15. 生存率、合併症発生率などの治療成績が良い
- 16. 入院にかかる経済的負担が少ない
- 18. その他(
- 19. 特に理由はない

問7 現在かかっている病院を選ぶにあたり、どこから情報を入手しましたか。【Oはいくつでも】

1. 医療機関の相談窓口

- 8. 新聞・雑誌・本の記事やテレビ・ラジオの番組
- 2. 病院が発信するインターネットの情報
- 9. 医師(かかりつけ医)からの情報
- 3. 病院の看板やパンフレットなどの広告
- 10. 知人や家族からの情報

11. その他(_

- 4. 行政機関の相談窓口
- 5. 行政機関が発信するインターネットの情報 12. 特に情報は入手していない
- 6. 行政機関が発行する広報誌やパンフレット
- 7. 病院・行政機関以外が発信するインターネットの情報

医療機関で受けた診断や治療について

問8 現在、かかっている病院についての感想をお聞かせください。【それぞれ〇はひとつだけ】

内 容	非常に満足している	やや満足 している	ふつう	やや不満 である	非常に不 満である	その他
医師による診療・治療内容に満足していますか。	5	4	3	2	1	0
医師との対話に満足していますか。	5	4	3	2	1	0
医師以外の病院のスタッフの対応に満足していますか。	5	4	3	2	1	0
全体として病院に満足していますか。	5	4	3	2	1	0

問9*問8のいずれかの項目で「やや不満である」「非常に不満である」と回答された方にお伺いします。* 不満な点は具体的にどのような点ですか。また、それに対して、どのような対応を望みますか。 ご自由にご記入ください。

不満な点は、具体的にどのよ うな点ですか。	
不満な点について、どのよう な対応を望みますか。	

次のページにも記入してください

問 10	がんの診断から治療開始までの状 選択することができましたか。【	_	総合的にふりかえって、ご自身が納得いく治療を ひとつだけ】
2. 4	う思う やそう思う ちらともいえない	4. 5. 6.	あまりそう思わない そう思わない わからない
問 11	診断や治療方針について、現在か 【〇はひとつだけ】	かっ	ている病院の医師から受けた説明はよくわかりましたか。
1. d			

- 2. だいたいわかった
- 3. あまりわからなかった
- 4. まったくわからなかった
- 5. 説明を受けていない ── 【問 13 へおすすみください (該当なければ問 15 へ)】
- 問 12 <u>問 11 で 1, 2, 3, 4 と回答された方にお伺いします。</u> 医師から受けた診断や治療方針の説明に対して、あなたの疑問や意見を医師に十分に伝えられましたか。【Oはひとつだけ】
- 1. 十分に伝えられた
- 2. 質問しにくい雰囲気だったので、十分に伝えられなかった
- 3. 的外れな疑問や意見のような気がして、十分には伝えられなかった
- 4. その他の理由で、十分には伝えられなかった
- 5. 疑問や意見は特になかった

※問 13、問 14→男性も女性もお答えください。

問 13	最初のがん治療が開始される前に、 医師から説明を受けましたか。【〇	その治療による不妊への影響について、 はひとつだけ】

1.	不妊への影響が ある 、という説明を受けた	→	【問 14 へおすすみください】
2.	不妊への影響が ない 、という説明を受けた		
3.	説明はなかった	→	【問 15 へおすすみください】
4.	わからない		

- 問 14 がん治療により不妊になる可能性があることについて、それを予防する、あるいは妊娠する 能力を温存するための具体的方法を医師から説明されましたか。【〇はひとつだけ】
- 1. 予防・温存の具体的方法を説明された
- 2. 予防・温存の具体的方法はないと説明された
- 3. 予防・温存の具体的方法について説明を受けなかった
- 4. わからない

裏面(次ページ)にも記入してください

問	15	あなたが治療を受けている病院では、診断・治療に関わる医師、看護師、他の医療スタッフは あなたから見て十分に連携していると思いますか。【〇はひとつだけ】
1.		よく連携している
2.	ā	ある程度連携している
3.	7	あまり連携していない
4.	7	まったく連携していない

6. わからない問 16 「がん治療」を決めるまでの間、医師、看護師、他のスタッフは、治療について、あなたが欲しいと思った情報を提供しましたか。

(「がん治療」には治療しないという方針も含みます。)【〇はひとつだけ】

1. 十分提供してくれた

5. どちらともいえない

- 2. ある程度得られた
- 3. あまり得られなかった
- 4. 全く得られなかった
- 5. どちらともいえない
- 6. 覚えていない/わからない
- 問 17 他の医師の意見(セカンドオピニオン)は必要だと思いますか。【〇はひとつだけ】

間が 他の区前の念光(ビガントガモニオン)は必要だと恋いるすが。[10]はのとうだけ』
 思う 思わない ────────────────────────────────────
問 18 <u>問 17 で「1. 思う」と回答された方にお伺いします。</u> セカンドオピニオンを受けたことがありますか。【〇はひとつだけ】
 受けたことがある 受ける予定がある 受けたことがない 【問 20 へおすすみください】
明 10 明 10 ~ 「1 巫はたっしがも2」 レ同ダナヤ・ナー・ヤラン します

- │ 問 19 *問 18 で「1. 受けたことがある」と回答された方にお伺いします*。 │ セカンドオピニオンを受けて良かったと思いますか。【〇はひとつだけ】
- 1. 良かった
- 2. 良くなかった
- 3. どちらともいえない
- 問 20 がん医療における緩和ケアとは、がんに伴うからだの苦痛と気持ちのつらさを和らげるとともに、がんになったことによる様々な不安に対し、それを解消することですが、あなたは、がん医療における緩和ケアについて知っていますか。【〇はひとつだけ】

1.	よく知っている	
2.	言葉だけは知っている	F88 00 to to to a 1 1 2 1 1 1 1 1
3.	知らない	【問 23 へおすすみください】

問 21 <u>問 20 で「1. よく知っている」と回答された方にお伺いします。</u>

あなたは、がんに対する緩和ケアはいつから実施されるべきものと思っていますか。 【〇はひとつだけ】

- 1. がんと診断されたときから
- 2. がんの治療が始まったときから
- 3. がんが治る見込みがなくなったときから
- 4. その他(
- 5. わからない

問 22 <u>問 20 で「1. よく知っている」と回答された方にお伺いします。</u>

現在かかっている病院で緩和ケアを受けた経験の有無、緩和ケアの提供や症状の改善について お聞かせください。【それぞれ〇はひとつだけ】

(22)-1 緩和ケアを受けた経験 はありますか。 【からだの苦痛、気持ちのつ らさについて、それぞれ〇 はひとつだけ】

(22) -2 (22) -1 で「ある」と回答された方にお伺いします。 緩和ケアは希望に応じてすぐに提供されましたか。また、症状は改善し ましたか。【それぞれOはひとつだけ】

内 容	緩和ケアを受けた経験		内 容		そう 思う	ややそう 思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	それ
からだの	1. ある	-	からだの	すぐに対応してくれた	5	4	3	2	1
苦痛	2. ない		苦痛	症状が改善した	5	4	3	2	1
	1. b a —	—		内 容	そう 思う	ややそう 思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わな
気持ちのつらさ		気持ちの すぐに対応してくれた		5	4	3	2	1	
o o	^{らさ} 2. ない		つらさ	症状が改善した	5	4	3	2	1

		内容	そう 思う	ややそう 思う	どちらともいえない	あまりそう 思わない	そう 思わない
•	からだの	すぐに対応してくれた	5	4	3	2	1
	苦痛	症状が改善した	5	4	3	2	1
		内容	そう	ややそう	どちらとも	あまりそう	そう
►		Pi 台	思う	思う	いえない	思わない	思わない
•	気持ちの	すぐに対応してくれた	思 う 5	思う 4	いえない 3	思わない 2	思わない 1

問23 奈良県が緩和ケアの普及啓発を目的に発行している「がん患者さんのための患者必携」を 知っていますか。【Oはひとつだけ】

1. 知っている

2. 知らない

地域連携について

- 問24 病院から診療所・在宅医療(看護も含む)へ移った際、病院での情報が診療所・ 訪問看護ステーションに円滑に伝わったと思いますか。【Oはひとつだけ】
- 1. そう思う
- 4. あまりそう思わない

7. わからない

- 2. ややそう思う
- そう思わない
- 3. どちらともいえない
- 6. 退院後、診療所・在宅医療は利用していない
- 問 25 がんの治療中や経過観察中に、病院のがんの専門医(または主治医)とかかりつけ医が二人で 連携して患者さんを診療していく制度(「がん地域連携クリティカルパス(注参照)」または「私 のカルテ」等)を知っていますか。【〇はひとつだけ】

(注)がん地域連携クリティカルパス:がん診療連携拠点病院等のがんの専門医(または主治医)とかかりつけ医が 二人で連携して、計画的に患者を診療していく制度。奈良県では、県統一版「私のカルテ」、院内独自で作成された 「がん地域連携クリティカルパス」などのツールが利用されている。

- 1. 病院から説明を受け、この制度を利用している
- 2. 病院から説明を受けたが、この制度は利用していない
- 3. 病院からの説明はなかったが、この制度の存在は知っている
- 4. この制度の存在を知らない

次のページにも記入してください

今往	後の治療・療養について
	6 在宅緩和ケア(注参照)を知っていますか。【Oはひとつだけ】
	注)在宅緩和ケア :在宅医やかかりつけ医による訪問診療や往診により、在宅での緩和ケアを受けること。
. :	
. :	知っているが、具体的な内容は知らない ────────────────────────────────────
. :	知らない
問 2	7 <u>問 26 で「1. 知っている」と回答された方にお伺いします。</u> 在宅緩和ケアについて、どのようにお考えですか。【〇はひとつだけ】
1.	受けたいし、実現可能だと思う
2.	受けたいが、困難な気がする 【問 28 へおすすみください】
3.	希望しない 【問 29 へおすすみくだ
4.	経験した(現在受けている)
5.	わからない
問 2	8 <i>問 27 で「2. 受けたいが、困難な気がする」と回答された方にお伺いします。</i> 困難だと思う理由は何ですか。【〇はいくつでも】
	在宅緩和ケアをしてくれる在宅医がいないから
2.	MINIE WILLIAM IN THE STATE OF T
3.	BI-MING STORES TO THE STORES
4.	
5.	
	家族に負担をかけるから その他()
	特に理由はない
問:	29 もし、がんが進行し、自宅や病院で療養中に、からだの苦痛や気持ちのつらさ等の症状の改善がみられない時、療養場所を選択することができるとすれば、どこで過ごしたいと思いますか。 【〇はひとつだけ】
1.	なるべく早く今まで通った病院に入院したい(または、現在の病院に継続して入院したい)
2.	なるべく早く緩和ケア病棟(ホスピス)(注参照)に入院したい
3.	在宅医療を受けながら、自宅で療養したい
4.	その他()
5.	わからない

問30 安心して自宅で療養するために必要なことは、何だと思いますか。【Oはいくつでも】

- 1. 病院スタッフ、かかりつけ医、訪問看護師等が連携してケアする体制
- 2. 在宅患者の体調が悪化した場合に緊急入院できる体制
- 3. 在宅患者の体調が悪化した場合にすぐ訪問したり対応してくれる在宅医や訪問看護師の存在
- 4. 在宅療養に関して必要な情報の入手や相談できる体制
- 5. 家族の不安(心のケア)に対して相談できる体制
- 6. 家族の介護負担を軽減するため、患者が短期入院できる体制
- 7. 訪問看護、訪問介護の利用対象の拡大
- 8. 車いすやベッドなどの福祉用具の充実
- 9. その他(
- 10. わからない

問 31 あなたは、現在がんになったことでご家族に負担をかけていると思いますか。【Oはひとつだけ】

- 1. よく感じる
- 2. 時々感じる
- 3. どちらともいえない

- 4. あまり感じたことはない
- 5. まったく感じたことはない
- 6. 該当しない/わからない
- 問 32 一般的にみて、がん患者の家族の悩みや負担をやわらげてくれる支援・サービス・場所があると思いますか。【〇はひとつだけ】
- 1. 十分あると思う
- 2. 十分ではないが、ある程度あると思う
- 3. どちらともいえない

- 4. やや不足していると思う
- 5. 非常に不足していると思う
 - 6. 該当しない/わからない
- 問33 あなたはこれまで受けた支援に納得していますか。【Oはひとつだけ】
- 1. 納得している
- 2. やや納得している
- 3. どちらともいえない

- 4. あまり納得していない
- 5. 納得していない
- わからない

相談支援・情報提供について

- 問34 がん医療に関する相談支援及び情報提供についてあてはまるものをお答えください。 【〇はいくつでも】
- 1. からだや治療のことで心配になったときに、担当医以外にも相談できるところがある
- 2. からだや治療のことで心配になったときに、担当医にしか、相談できないと思っている
- 3. 誰に(どこに)相談すればよいのかわからない
- 4. がんに関する情報を手に入れるための方法(インターネット、本等)を知っている
- 5. がんに関する情報をどうやって手に入れたらよいかわからない
- 6. その他(

問35 あなたが知りたいがんに関する情報についてあてはまるものをお答えください。 【それぞれ〇はひとつだけ】

内 容	そう思う	ややそう 思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わ ない
がんの治療方法についての情報が不十分である	5	4	3	2	1
病院の診療体制や治療状況についての情報が不十分である	5	4	3	2	1
緩和ケアについての情報が不十分である	5	4	3	2	1
がん治療にかかる費用についての情報が不十分である	5	4	3	2	1
経済的支援や利用できる社会保障制度などの情報が不十分である	5	4	3	2	1
自宅での療養生活についての情報が不十分である	5	4	3	2	1
がんの病態や統計データ等の情報が不十分である	5	4	3	2	1
日常生活を送るのに必要な情報が不十分である	5	4	3	2	1

問36 がん診療連携拠点病院等内に設置されているがんの「相談支援センター」(注参照)を利用したことがありますか。【〇はひとつだけ】

(注) 相談支援センター:一定の要件を満たす医療機関として国や県が指定した「がん診療連携拠点病院」等には、がんに関する相談や情報提供を行う相談窓口として「相談支援センター」が設置されている。県内では、奈良県立医科大学附属病院、奈良県総合医療センター、天理よろづ相談所病院、近畿大学医学部奈良病院、市立奈良病院、国保中央病院、済生会中和病院、大和高田市立病院に設置。

- 1. 利用したことがある
- 2. 院内のどこにあるかも含め知っているが、利用したことがない
- 3. あることは知っているが、院内のどこにあるかも知らず、利用したことがない
- 4. 知らない

問37 「患者サロン」(がん患者やその家族など、同じ立場の人が、がんのことを含めて気軽に語り合う交流の場)があることを知っていますか。【〇はひとつだけ】

- 1. 知っている
- 2. 聞いたことはあるが、どのような活動をしているのか知らない ——
- 3. 知らない ______ [問 39 へおすすみください]

問38 <u>問36で「1.知っている」と回答された方にお伺いします。</u> 患者サロンについて、どこで知りましたか。【〇はいくつでも】

- 1. 病院の医師、看護師等スタッフからの説明
- 2. 病院からの配布物 (院内放送等も含む)
- 3. 行政機関が発行したチラシ
- 4. 知人や家族から聞いた
- 5. テレビ、新聞、ホームページ等
- 6. 活動しているところを見た
- 7. その他(______

治療と就労について 問39 現在の日本は、がん治療を受けながら、働きつづけられる環境だと思いますか。 【〇はひとつだけ】 1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらかといえばそう思わない 4. そう思わない 5. わからない 問40<u>がんと最初に診断された時の、患者さんご本人の就労状況</u>について教えてください。 【Oはひとつだけ】 1. 正規の職員・従業員 2. パート・アルバイト (学生を除く) 3. 派遣社員・契約社員・嘱託 4. 自営業·家族従業員 — ──→ 【問 44 へおすすみください】 5. 家事専業・家事手伝い 一 →【問 45 へおすすみください】 6. 無職 7. 学生 8. その他(問 41 *問 40 で 1, 2, 3 と回答された方にお伺いします。* がんと診断され、検査や治療が進む中、仕事の継続に対する事業主の理解・ 支援は得られましたか。【〇はひとつだけ】 1. 十分得られた ある程度得られた 3. 得られなかった 4. 理解・支援は必要なかった 5. その他(_ 問 42 *問 40 で 1, 2, 3 と回答された方にお伺いします。* がんで初めて治療・療養した時、一定期間(連続して3か月以上)仕事を休みましたか。 また、その後復職・復帰しましたか。【〇はひとつだけ】 1. 休まなかった 2. 現在まで継続して休んでいる 3. 一定期間休み、その後、復職・復帰した 4. 一定期間休み、その後、復職・復帰せずに退職した 5. 休んだあと退職した

次のページにも記入してください

6. 一定期間休まずに、退職した

7. その他(

問 43 <u>問 40 で 1, 2, 3 と回答された方にお伺いします。</u> 仕事を継続する上で、どのような対応・制度が必要だと思いますか。【〇はいくつでも】

- 1. 年次有給休暇の時間単位での取得
- 2. 短時間勤務への変更
- 3. フレックス勤務への変更
- 4. 在宅勤務への変更
- 5. 試し出勤制度(リハビリ勤務など)
- 6. 体調を考慮した配置転換
- 7. 職場復帰支援へのアドバイス制度(産業医等からの助言指導)
- 8. 職場復帰前の面談(意向確認)
- 9. 休職前の部署・ポジションへの復帰補償
- 10. 休職前の賃金補償
- 11. 体調不良時に利用できる休憩場所の確保
- 12. 相談窓口の設置
- 13. その他(
- 14. 必要ない
- 15. わからない

問 44 <u>問 40 で 1, 2, 3, 4 と回答された方にお伺いします。</u> がん治療・療養のための退職・廃業の有無と、現在の仕事の状況について、教えてください。 【**〇**はひとつだけ】

- 1. 退職・廃業をしたことはない(休職・休業中を除く)
- 2. 退職・廃業をしたことがあるが、現在は再就職・復業・開業している
- 3. 退職・廃業をした。希望はあるが、現在は再就職・復業・開業していない
- 4. 退職・廃業をした。特に希望はないため、現在は再就職・復業・開業していない
- 5. その他(______)

問 45 生活上の困難 (経済的なこと、就労のことなど) に関して情報提供や相談支援を受ける場合、 どのような点について充実を望みますか。【Oはいくつでも】

- 1. 医療機関における相談支援体制の充実
- 2. 職場における相談支援体制の充実
- 3. 行政機関(労働局や県など)による相談支援体制の充実
- 4. 行政機関が発信する情報提供サイトの充実
- 5. 行政機関が発行する情報冊子の充実
- 8. わからない

次のページにも記入してください

全般的なことについて

問 46 がん対策について、奈良県としてどういったことに力を入れてほしいと思いますか。 【〇はいくつでも】

- 1. がん予防 (たばこ対策などの生活習慣病対策も含む)
- 2. がんの早期発見(がん検診)
- 3. がんに関する専門的医療従事者の育成
- 4. がん医療に関わる医療機関の整備(拠点病院の充実など)
- 5. がんに関する情報の提供
- 6. がんに関する相談やその支援
- 7. 緩和ケア
- 8. 在宅医療・在宅療養体制の充実
- 9. がん登録
- 10. がんによって就労が困難になった際の相談・支援体制の整備
- 11. 子どもに対する、がんに関する教育
- 13. 特にない
- 14. わからない

問 47 療養生活を送る中で、よかったと感じたこと、また、不満や疑問に感じたことがあれば、 自由にご記入ください。

〇よかったことや不満、疑問に感じたこと

問48 医療機関や行政に対し、がん医療に関して何かご意見があれば、自由にご記入ください。

〇医療機関に対して

〇行政に対して

調査にご協力いただきありがとうございました。 返信用封筒に入れて密封の上、切手を貼らずに郵便ポストへ投函してください。

〆切:平成27年10月9日(金)【当日消印有効】

がんと診断されたことがない方へお伺いします。 問49~問64をお答えください。

≪現在通院中の病気について、診療・治療を受ける上でのお考えについてお答えください≫

問 4	9 あなたが治療中の病気で、	あてに	はまるものをお答えください。	【〇は	いくつでも】
1.	高血圧	6.	喘息や呼吸器の病気	11.	精神・神経の病気
2.	糖尿病	7.	心臓の病気	12.	貧血など血液の病気
3.	脂質異常(高コレステロールなど)	8.	腎臓・前立腺の病気	13.	骨・関節の病気
4.	胃、腸の病気	9.	肝臓・胆のう・膵臓の病気	14.	その他
5.	甲状腺の病気	10.	脳卒中・脳梗塞	(1

問 50 現在治療(または経過観察)のために、かかっている病院はどちらですか。【Oはひとつだけ】

1.	奈良県立医科大学附属病院	6.	国保中央病院
2.	奈良県総合医療センター	7.	済生会中和病院
3.	天理よろづ相談所病院	8.	大和高田市立病院
4.	近畿大学医学部奈良病院	9.	その他 ()
5.	市立奈良病院		

7. 病院・行政機関以外が発信するインターネットの情報

問 5	1 現在かかっている病院を選んだ理由は何です	⁻ か。【	Oは3つまで】
問 5 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7.	1 現在かかっている病院を選んだ理由は何です 医師による紹介 家族・友人・知人からのすすめ 薬局や他の医療関係者からの紹介 自宅や職場・学校に近い 交通機関の便がよい 以前に来たことがある 以前に受診した医療機関に満足できなかった 大きな病院で安心そう	11. 12. 13. 14. 15. 16.	技術のすぐれた医師がいる 専門性が高い医療を提供している 様々な症状に対応できる医療を提供してい 受けたい検査や治療をおこなっている 生存率、合併症発生率などの治療成績が良 入院にかかる経済的負担が少ない 連携している医療機関・福祉施設が充実
8. 9. 0.	大きな病院で安心そう 病室などがきれいな病院だから 医師や看護師が親切	18. 19.	その他(
	En i America intra		

問 52 現在かかっている病院を選ぶにあたり、どこから情報を入手しましたか。【Oはいくつでも】

1.	医療機関の相談窓口	8.	新聞・雑誌・本の記事やテレビ・ラジオの番組
2.	病院が発信するインターネットの情報	9.	医師(かかりつけ医)からの情報
3.	病院の看板やパンフレットなどの広告	10.	知人や家族からの情報
4.	行政機関の相談窓口	11.	その他(
5.	行政機関が発信するインターネットの情報	12.	特に情報は入手していない
6.	行政機関が発行する広報誌やパンフレット		

- 問53 あなたが受診している病院での医師、看護師、その他の医療スタッフは、その病気について あなたが欲しいと思った情報を提供していますか。【〇はひとつだけ】
 - 1. 十分提供してくれた
 - 2. ある程度得られた
 - 3. あまり得られなかった
 - 4. まったく得られなかった
 - 5. どちらともいえない
 - 6. 覚えていない/わからない
- 問 54 あなたは、普段欲しいと思った医療情報を得られていますか。情報源は問いません。 (書籍・インターネットを含む)【〇はひとつだけ】
 - 1. 十分得られている
 - 2. ある程度得られている
 - 3. あまり得られていない
 - 4. まったく得られていない
 - 5. どちらともいえない
 - 6. 情報を欲しいと思わない
- 問55 あなたが治療を受けている病院では、診断・治療に関わる医師、看護師、他の医療スタッフは あなたから見て十分に連携していると思いますか。【〇はひとつだけ】
 - 1. よく連携している
 - 2. ある程度連携している
 - 3. あまり連携していない
 - 4. まったく連携していない
 - 5. どちらともいえない
 - 6. わからない
- 問 56 あなたは、病気や健康に関する様々な疑問について相談できる場がありますか。 【〇はひとつだけ】
 - 1. ある
 - 2. ない
 - 3. 相談を必要としていない

次のページにも記入してください

- 問 57 現在の日本は、あなたがかかっている疾病の治療を受けながら、働き続けられる環境だと思いますか。【〇はひとつだけ】
- 1. そう思う
- 2. ややそう思う
- 3. あまり思わない
- 4. まったく思わない
- 5. わからない
- 問 58 これまで病気の治療のために、一定期間(連続して3か月以上)仕事を休んだことはありますか。その後、復職・復帰しましたか。【〇はひとつだけ】
- 1. 休まなかった
- 2. 現在まで継続して休んでいる
- 3. 一定期間休み、その後、復職・復帰した
- 4. 一定期間休み、その後、復職・復帰せずに退職した
- 5. 休んだあと退職した
- 6. 一定期間休まずに、退職した
- 7. もともと仕事はしていない
- 8. その他(
- 問 59 病気の治療のために、一定期間(連続して3か月以上)仕事を休まなければならないとしたら あなたの仕事上の関係者は、仕事と治療の両立について、支援または配慮をしてくれると思い ますか。【〇はひとつだけ】
- 1. そう思う
- 2. ややそう思う
- 3. あまり思わない
- 4. まったく思わない
- 5. わからない
- 6. もともと仕事はしていない
- 7. その他(

問 60 あなたは病気になったことで、ご家族に負担をかけていると感じますか。【Oはひとつだけ】

- 1. よく感じる
- 2. ときどき感じる
- 3. あまり感じたことはない
- 4. まったく感じたことはない
- 5. 該当しない/わからない

裏面(次ページ)にも記入してください

)

)

問 61 一般の人が受けられる医療は数年前と比べて進歩したと思いますか。【Oはひとつだけ】

- 1. そう思う
- 2. ややそう思う
- 3. あまり思わない
- 4. まったく思わない
- 5. どちらともいえない
- 6. わからない

問 62 あなたはこれまで受けた治療に納得していますか【Oはひとつだけ】

- 1. 納得している
- 2. やや納得している
- 3. あまり納得していない
- 4. まったく納得していない
- 5. どちらともいえない
- 6. わからない

問 63 現在自分らしい日常生活を送れていると感じていますか。【Oはひとつだけ】

- 1. そう思う
- 2. ややそう思う
- 3. あまり思わない
- 4. まったく思わない
- 5. わからない

問64 ご意見・ご感想など、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきありがとうございました。 返信用封筒に入れて密封の上、切手を貼らずに郵便ポストへ投函してください。

<u>〆切:平成27年10月9日(金)【当日消印有効】</u>